

水 泳

目 次

第十五回
早慶對抗水上競技大會評……齋藤巍洋…(1)

三大學對抗總評……阪上安太郎…(4)

第十七回關東學生
水球リーグ戦を省みて……伊丹康夫…(8)

防空と無筋プールの建設……
……深谷俊明…(12)

驚異の新人ボツブ・スミス……(18)

東京横濱八王子三市對抗
女子水上競技大會……白山廣子…(20)

東京の水球を見て……上野克己…(23)

海外水泳情報……小山賢之助…(25)

昭和十六年指導者檢定試験……渡邊延…(30)

科學施設委員會議事録……(31)

日本水上競技聯盟日誌……(32)

昭和十六年度水上競技日程

(日本水上競技聯盟)

- 八月十日(日) 午前 中……第四回國民皆泳全國學童水泳大會……………
午後一時……東京女子中等學校水上競技大會……………
- 八月十六日(土)……晝一水球、飛込 夜一競泳 東京選手權水上競技大會……………
十七日(日)……" " "……………
十八日(月)……" " "……………
- 八月二十七日(水) 午前九時……東京國民學校水泳大會……………
- 九月五日(金) 午後……東京學生選手權第一次水上競技大會……………
六日(土) " "……………
七日(日) " "……………
- 九月十三日(土) 午後……東京學生選手權第二次水上競技大會……………
十四日(日) " "……………
- 九月十六日より廿三日まで……東京學生選手權水球競技大會……………

以 上

水 泳 指 導 基 準

定 價 1.20 錢
送 料 10 錢

我邦現代水泳の父故飯田光太郎氏が晩年氏の水泳に關する意見の總精算をされた最後の遺稿である。現代の日本の正しい泳は之で判る。標準泳法制定の顛末は明かである。水泳指導者必携の良書である。

成美堂版 全170頁



評會大技競水上對抗慶早

齋藤 巍 洋

第十五回早慶對抗水上競技會は本シーズンの開幕の一戦として多大の興味を持たれ、六月八日正午から神宮水泳場で行はれた。

この日快晴であつたが、水温十九度半、気温廿二度だつたから、餘り恵まれたコンディションではなかつた。しかし、各種目とも、各選手の力泳物凄く見るべきものが多々あつた。

第一に背泳における兒島、吉田の熱戦、二百、四百米での宮本の力泳、百米に顔を見せた吉田、兒島の對戦等々、興味深く観ることが出来た、また水球戦なども大會の白眉の好試合であつた。各種目とも熱戦の末、競泳では早大が吉田主將以下宮本、宇田新人藤垣などの健闘で、全種目中百米背泳の一位を兒島に譲つたのみで、他のことごとくを是等の猛者が占め、28—11の大差で早大の連覇となつた、飛込では久保（早）が樂々と兩種目に一位を得たが、後援續かず 23—21 で慶大がその陣容を誇り、水球戦も激戦の末で慶大の優勝に歸した。

各種目について戦ひの跡を顧みることにして。

競 泳

- ◆百米①吉田（早）61秒2
- ②兒島（慶）61秒8

③杉田（早）62秒0

小柳（早）上藤（慶）などの新人がシーズンが浅いために奮はないのは當然だが、杉田（早）高尾（慶）などの専門家が苦もなく、背泳から得點稼ぎに顔を見せた吉田（早）兒島（慶）に一、二位を委せて終つた、背泳選手は自由形より脚力が必要なため、脚力の差が、この結果となつたのである。背泳の兩豪の健闘は稱すべきであるが、兩校として短距離陣がこんな状態では心細い感がある。

勿論最近の水泳界で百米を60秒で泳く者といへば佐々木（日）が社會人の列に加はつたため、現在では新井（立大）獨り切りであるが、前半の練習、即ち、水に乗る練習さへ積めば容易に60秒内は望めようから、各選手とも徒らに泳ぐことより、今少し、こう云つた技巧の研究をすべきである。背泳の選手が如何に脚力があつても、60秒以内を望むことは困難だ、背泳の水準線を常に世界、キープアの域に我々が欲してゐるから、自由形まで伸びるべき餘裕が與へられないからである。

◆二百米①宮本（早）2分16秒4

- ②杉田（早）2分20秒0
- ③上藤（慶）2分20秒6

宮本の獨り舞臺だつた。勿論戦前から同君のみに

望みをかけられてゐたといつてよい程、好調が傳へられてゐた。しかし、まだ、本調子でなかつた。毎年シーズン始めは餘り苦しいものではなかつたが今回も脚力と腕の搔手との調和が今一息の所まで達してゐたが、脚、腕の調和は思ふ様ではなかつた。

宮本の泳ぎ振りは餘力を常に備へてゐる様に見受けられる。それでゐて前半ペースが不確實の様である、往年の世界の覇者ワイスマユラーは「いつも先づスタートで相手を押さへ、そのまゝ最後の回に一寸つとスパートして制勝したと」いふてゐたが宮本にこんな気持ちがあるんじゃないかと思はれる。斯様な戦法で樂勝を狙つてゐたのでは大記録は望めない。矢張り、前半百米を1分2秒臺或は3秒と常に確定した自分のペースを作らなければ不可ない。

杉田、上藤以下中澤、寺田(慶) 杉田、枝元(早) など皆な唯頑ん張りのみで泳いでゐた、力みの泳ぎ、これでは將來生がない。矢張り長い距離を泳ぎ、自分のフォームを編み出さねばならない。

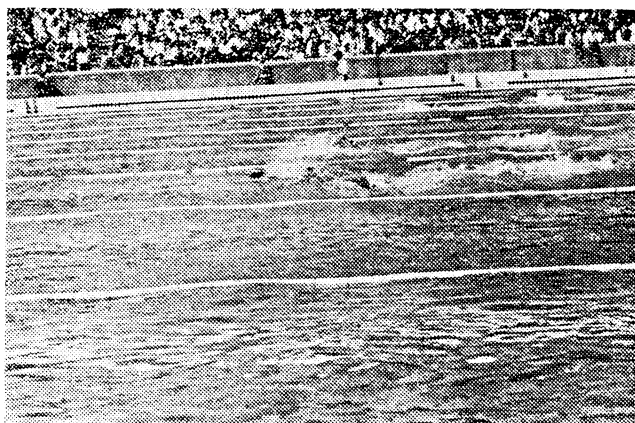
◆四百米①宮本(早) 4分55秒

②宇田(早) 5分0秒8

③寺田(慶) 5分5秒

宮本がまだ水に乗つてゐないため、理想的な滑りではなかつた。前半2分20秒2、これでは期待出来ない。最近この種目の出足がみな悪くなつた様だ。少なくとも2分15—17秒であつて欲しい。どうした理か、宮本は完全なペースを作り得る實力を持つてゐながら、いつも最後の回に樂々相手を抜き離すことが出来るために、ペースへの努力が足りない様である。一層の精進が望ましい。宇田などもこの戦法で最後の華やかさを期してゐる様だが、これでは大成は難かしい。寺田が奮起して第三位に喰ひ入つたが片山(慶)がスプリントなく、また田中(慶)が練習不足で等外に落ちた。四百米といふ種目は日本

200米自由ゴール寸前宮本、上藤、杉田



人の最も苦しい種目であるが、矢張りこの種目が完成するためには、百米、二百米へとそのスプリントを増し、完成を期さなければならない。

私は二百米を2分12秒で泳ぎ得る選手が居れば四百米の前半を同タイムで泳ぎ得ることが容易であると信じ得る。そして前半の短縮にのみ努力してゐるが、こういつた努力が必要である。

◆千五百米①宇田(早) 20分5秒8

②片山(慶) 20分7秒8

③河村(慶) 20分48秒21

宇田、片山の競り合ひは興味あるものであつた。スプリンとがまだ兩選手に備つてゐないために、全く力の争ひといつた感であつた。これでは田中(早)に劈頭抜き離されても、すればフォームが亂れることが必條である。20分5秒8での宇田のゴールは上出来だつたが、矢張り今少しスプリントが欲しい。あれだけラストスパートが出るんだから、スプリントの練習を積めば易々と20分を割ることが出来よう。田中はまだ本調でなく、等外だつたが、依然長距離選手の片隣を見せてきた。今後の活躍を待望して止まない。

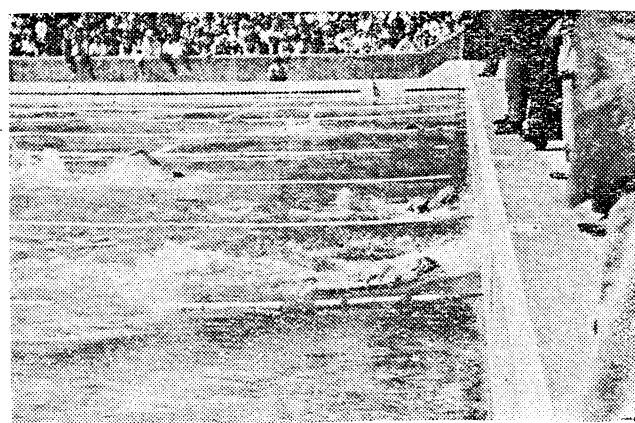
長距離陣の泳ぎを見て特に感ずることは、腕を抜き切る時、キビキビして、先手に身體の重心を十二分に移し得る様な兩手の關係、打叩との調和が大切であるといふことを痛感した。また、各選手とも自分でペースを作る。勿論宇田など相手は19分臺で泳げば附いて行けるが、少なくとも自分がプースメーカーとなり得る様、平素から訓練せねば不可ない。

◆百米背泳①兒島(慶) 1分9秒

②吉田(早) 1分9秒2

③中野(早) 1分12秒6

背泳は試合として第一の呼物であつた。兒島、吉田の一騎うち、兒島にすれば復讐戦であり、吉田は50米ターン 3. 吉田、4. 兒島、7. 中野



是が否でも勝たねばならない所だつた。戦前は兩豪とも1分7秒臺への確立持つてゐた様だ。しかし、試合ともなれば、ことに初めての顔合せのために固くなり過ぎた感があつた。吉田の搔手も、脚力の調和を得て自由に速く出来る様になつて來てはゐるがこの日はどうした理か全く水に乗つてゐる所がなかつた。ヂグザグに泳ぎ、スタートで兒島を押さへながら五十米では抜かれてゐる。しかも33秒2を要して折り返してゐるのだから、これでは7秒臺が望み薄だ。しかし、流石一流だけあつて、立派なゴール前の競り合ひとなり、1分9秒で瞬間に勝敗を決した兩豪に7秒臺が待望され、またその實力も備はつて來たから、今夏こそは期待してよからうと思ふ。キープアーが依然超人的記録を保持して世界を牛耳つてゐるが、第二位以下は混沌たる情勢だ。キープアーの域には及ばないとしても、水泳日本として1分7秒臺へ擡頭、背泳陣を強化して置きたい。兩豪の鍊成への精進を希ふ。中野も目立たなかつたが、漸く泳ぎに確實味が加はつて來た。體力的に恵まれてゐるんだから、益々自重を望む。

◆二百米平泳①藤垣(早)2分49秒8

②古川(早)2分52秒8

③岩崎(慶)2分54秒2

新人藤垣がよく泳いだ。2分49秒8だつたが、シーズン始めとしては悪くはない。葉室引退後大浦(立教)吉村(日大)などが漸く、囑望されてゐるのみの寂寥たるこの種目に、新進氣鋭の擡頭が望ましい。確つかりした基礎を作つて大成を期して貰ひ度い。

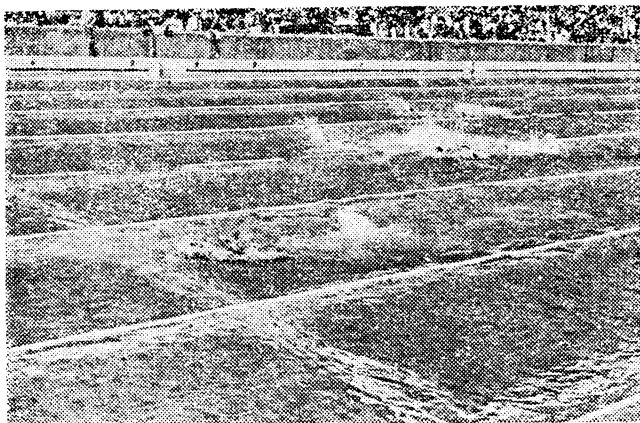
古川、岩崎ともに早慶の中心であるが、なほ一層の努力が必要である。

◆八百米繼泳

①早大(宮本、宇田、杉田、吉田)9分17秒6

②慶大(上藤、河村、吉田、中澤)9分30秒2

70米吉田、兒島、中野の接戦



粒の揃つた早大の一位は動かさなかつた。最近の繼泳における勝敗を第一泳者に全力を注いで來たのが見立つて來た。しかし早大の様に宮本が斷然抜き離し、勝敗の數が既に決して終つてゐるのだから、第二泳者以下は今少し、全力をあげて力泳を試みて貰いたかつた。最近では勝敗は勿論だが、矢張り記録をバロメーターとして日本の水準を保持して行かねばならないのだから、勝敗がはつきりした以上は、最高能力を十二分に發揮して、自分のペース完成へと期して欲しい。

◆水球

慶大 3 { 2—0 } 1 早大
1—1

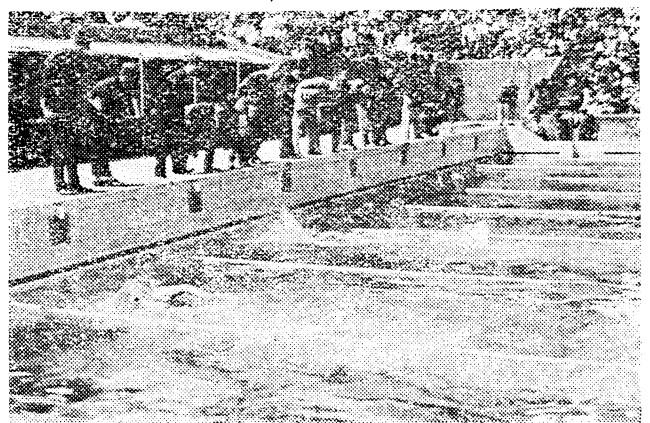
傳統を誇る兩チームとも今リーグでは新人が多かつたため、日大に惜敗、今大會では第二位を争ふことになつた。従つて緊張味も例年と違つたものであつた。技巧に洗練された慶大が力の早に大勝出來た形だつたが矢張り水球は十二分な準備と洗練さとが必要であるといふことを感じた。ことに水中防害、審判法なども可成り上達して來た今日、泳ぎ、力のみでは制覇が難かしい様である。

◆飛込は筆者の専門外だ。くだらぬ評を試みても始まらぬ。従つて専門家に譲りたい。だが、何んにか最近の早慶の飛込界は目立つた選手が久保一人で他は唯飛びこなせてゐるといふだけの感じがする一層の努力が望ましい。

かく、全種目に亘つて見る時、依然、早慶の水の陣容を誇るものがあり、また、まだまだ研究の余地が残されてゐるものもある。

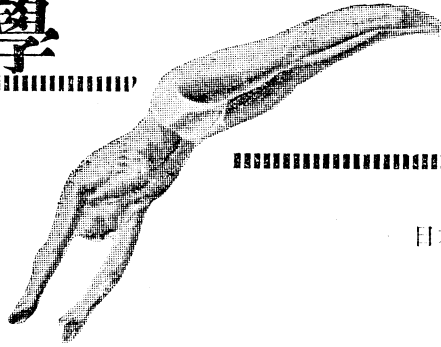
今夏の最大の計畫だつた獨乙選手招聘も獨ソ開戦のために實現不可能となつた。刺戟の無い練習程進歩を害するものがない様だが水泳日本の面目にかけても世界の水準を確保して行かねばならぬ。凡ゆる機会を試練場として一層の精進を切望してやまない

ゴール 3コース吉田、4コース兒島



三大學

對抗總評



日本水上競技聯盟 阪上安太郎

——雑誌「水泳」に、三大學對抗水上評を書く事の意義は、斯の競技に関する新聞記事を再現することではない。換言すれば、それは徒らなる煽情本位から離脱して、高所から是を批判することであり、たどたどしい競技記録の單なる羅列から遠ざかることを意味する。

四年六ヶ月の軍隊生活から最近水泳界に歸還した自分に、當競技會を評せよと云ふ注文は一應無謀にも考へられるが、試合は現に觀たのだから書けぬこともなからう。むしろ外地から歸り着いて最初に觀た内の一つの試合に對する素人眼的素直さを狙つての注文かも知れぬと勝手に解釋し、自儘に書いて行かう。——

競技、第八回三大學水上は、日立覇權爭奪の分岐點は、中長距離にありと云ふ豫想の下に興味を集中しつつ展開された。

此の日水温十九度、氣温二十度そば降る梅雨空では湿度も低からう筈はなく、これでは泳ぐ者も觀るものも鬱陶しきで多少氣が減入る。此の程度の低氣温水温でも、からりと晴れ上つた日和ならばまだしも、こう湿度が高いと選手も天馬空を行くあの明朗な意氣は發揚困難かも知れぬ。

低水温に對しては、決定的な弱點を持つ日本競泳選手である。三校の競技者も又是のコンディションには可成り惱まされたことだらう。

天候とプールコンディションに恵まれざる此の競技條件裡に彼等は如何に敢闘精神を發揮し得たであらうか？

以下逐次種目別に取上げて検討してみる。

混繼泳三百米。立日明の順で勝敗の決することは事前から容易く豫想出來た。唯、明大が極めて眞摯な態度で奮闘したのは立派だ。日大は第一泳者谷口の優位を利用して流れ込み策に望みをつないだが、葉室(日)大浦(立)の第二泳者競争に於て、逆にリ

ードされた處で優勝は立教に決定した。立大第三泳者新井が後に重要な種目があると云ふ爲だけの理由で力をセーブしたとするならば感心出來ぬ。

勝たんが爲だけの競技は、最高標準のものではない。自己の出場種目の一つ一つに全力を傾注し、尙且その何れかの種目に優秀なる記録が現出し、勝を制してこそ、其の選手は強いと云ひ得る。

此の種目に於て、速泳々者が劣勢であることは、何よりも決定的な弱點となる。速泳二秒と平泳、背泳二秒との距離の差は實に大きい。此の點へ日大は將來特に充填しなければなるまい。

速泳八百米。四百米と共に戦前に於て豫想された混泳状態が展開された。記録は別として極度の熱意が充滿した觀るからに素晴らしい闘争ぶり、前半四百米迄は嘘々實々互ひに多少掛引に意を用ひ、後半に至るや、忠實に各自のペースを守る耐久持久作戦に轉ず、力を用ひ、頭を用ひての、本間(立)津田(日)酒井(立)栗原(日)竹内(明)松山(明)の死闘振りは見上げたもの、此所では日立明が對等で闘つてゐた。四百は栗原、五百は津田、七百は津田と夫々僅かにリード交代、七百五十に至るや本間、津田竹内、と同時に返し、松山亦是に續く。

觀る者は是を以つて最上の競技振りと稱讚した。泳いだ者も又此の闘争精神が最高の競技精神と悟入し、全ての試合に發現すべく留意すべきである。

十分二十一秒—四秒の記録は特筆大書すべきものではないが、低水温の影響を最も多く蒙むる種目としては、先づ先づ上々、新人酒井が老巧者に牽制され自己のペースを亂されたこと、一コースの本間が激戦に心奪はれ？ 九コースの松山を念頭外に置いた一失、共に難すべく、松山コースの利に據つたとは云へ、あのラストスパート、頭初より一位を狙つて慾しかつたが堅實なる努力は認める。

速泳二百米。先づ新井の大會新記録二分十一秒の

樹立を高く評價する。此の記録に對する前半百米 1分2秒は理想的、而し4百米競技もなし得る彼の低力を思へば更に後半の強さの完成を待望する。然しながらシーズン當初の練習不充分と此の競技會の悪コンディションを考ふれば、後期競技會に於ける素晴らしい記録の樹立が約束せられ、日獨對抗、全日本學生を控へて幾年ぶりかの興奮を水泳人に與へる。

復活途上にある鷺谷(日)を見出し、新人太田光の大きな型に注目する。太田の脚力は充分だ、唯だ肩力の養成に努力すべきだらう。

背泳百米。一般に低調、谷口(日)坂本(立)平賀(立)の順調さが證明せられたのみ、唯だ坂本、平賀が同一校でありながら猛烈に競り合つた態度は嬉しかつた。

平泳2百米。大浦(立)の健闘振りを買ふ。彼は混泳に於ても、極めて真面目な奮戦をした。途中百米を1分17秒8で泳ぎ、2分43秒8は高度なもの、あの眞摯な競技態度は將來の常續的な進歩を約束するだらう。

2位、3位、の吉村(日)堤(立)が150の折返しで頭を並べ猛烈に競り合つた邊りに多少の興味をそそつたが概して通常の競技であつた。

速泳400米。800米と同様、崇高なる競技精神が發揮せられ、選手が揃つてゐる爲にのみ熱意ある結果を示したとは云ひ難い良さがあつた。800米に於て、竹内(明)に惜敗した津田(日)が、ラストパート克く勝を制したのは偉とするに足る。日大が執拗に優勝の望みを捨てず遮二無二挑みかゝつた姿が良く現はれてゐた。結果は別として、天野(日)を退け補缺淺野(日)を起用して新人の玉碎に望みを託した策は當然のこと、立大が岩田を排して酒井を用ひたのも面白い。

速泳100米。200米の入賞者が、夫々奮闘したのであるが、新井の獨壇場、同君の58秒4は200米に於けるものと共に素晴らしいもの、是の種目が先に行はれたとするならば、更に好記録が望め得たであらう。此處では亦、全ゆる絶讃を新井に注ぐ反面、他選手の劣弱さをかこたねばならなかつたことは、嘗に當競技會のみではなく、大きく日本短距離競泳界の爲に寒心に耐へぬ。最早短距離陣不振の特種原因を突止めねばならぬ所まで來た。

繼泳800米。立大の9分12秒8の大會新記録は、特筆すべきものではないが敢て附言するならば、新井

の好調に依るもので彼の12秒が4他の三選手の20秒臺を補ひ得たにすぎぬ。

飛込競技。一般に下位者の拙劣さを叫ばれてゐる日本飛込競技界の現状を其の儘暴露したもので、殊に飛板飛込に於て此の感が強かつた。危ぶなげな技術は觀衆に不安をすら與へた様である。

本競技が公開競技として取扱はれてゐるのは立大に選手を有しない事に起因してゐるのだが、是には可成り當事者は考へねばなるまい。公開競技なるものは一般にあまり感心出來ない競技形式であつて、是の競技會が此の儘で飛込競技を續けることは賛成出來ない。但し総合的な競技會として、競泳、飛込、水球、を含むものとするか、或ひは競泳のみとするか、何れが果して最善であるだらうか？ 是は一概に論斷し得ないこととして其の儘懸案とする。

總評。本年度當競技會は、立大チーム優良なる新人を得て、精神的に日大を壓倒し得たことは多少認むるものの新人の現實の活躍振りは豫期に反し不振結局新井の存在が決定的な覇權の奪回となつたと觀るべきであらう。日大は歸する所、立大の優位とするものを持たなかつた點で防守に専念しなければならない羽目に陥つた。明大が専心出撃戦に志し豫期以上の戦果を修め得た事は、あの實力としては當然のことかも知れぬ。新人は極めて不調だつたと云ふ意味は、大學入りをした初年度に於て彼等の示す力量は其の中等學校時代に於けるものよりも格段の飛躍するを常とする點に標準を置いてのことである。尙彼等は斯の勢ひに依り最初の年を泳ぎ抜き、確固たる大選手の基礎を築き上げるだけに、今日の此の無氣力さは憂ふべきものである。各校共是等新人に頼る處少なく、むしろ舊陣營のみを以つて勝敗を争つた態で、従つて全體的に觀て多少發洩たる生氣に缺けてゐたが、それも氣分の問題だけで、舊陣營選手達は極めて堅實に敢闘したことを認める。

飛込競技の實施狀況は前述の通りであるが此の儘繼續するならば立大の参加を待たず直ちに正式競技として採用してはどうだらう？ 立大側が此の點に責任を感じ一日も早く選手の養成に達成すべきことは水上チームとして當然のことである。

斯の如く飛込競技を實施するならば必然水球競技も採るべきであらう。當競技大會に水球の除外されてゐるのは、三チームが競技する關係上時間的に幾多の困難が生ずる爲とは考へるが、而し是とても學

生水球側と協議すれば実施は難しいことではない。

入場式は概して良好であつたが、選手の姿勢、歩調、節度、等の點に於て充分とは云ひ難いものがある。閉會式に集合した日大の選手の數が入場式のそれよりも遙かに少なかつたのは目立つた。特に兩儀式を通じ、其の特質とも云ふべき學徒選手の發洩たる氣風が示され得なかつたことは心もとない。

以上の點は、一見些細に見えるが、新時代の競技會を演ずる者は心すべきことであらう。

役員側へ是を望むならば競技當事校と共に更に嚴肅なる儀式型式を実施する如く努力して欲しい。それが如何なるものであるかは、彼のオリムピック大會の其れを想起すれば合點が行く筈である。

吾々は入場式終了後に觀客が入つて來、閉會式前に立去つて終ふ如き競技會をしてはならぬ。

尙亦、當競技會に於て、拳銃の不發多かりしは適當でない。スタート臺に出發姿勢を採つた選手の立上りの氣合を殺いだことは、極めて重大なる事と考へねばならぬ。一層の準備を要望したい。

次に試合の運行状態に付、一言するならば、あの程度の内容ならば、試合の間合を更に少なくし、終了を更に一時間繰上げるか、若くは開始を一時間繰下げて觀客が悠悠晝食を済まして來られる如く出來れば申分ない。

結言、要約するに當大會は戦前の豫想通り立大七分の有利さを以つて四年ぶりに日大の手から覇權を奪回した。唯波瀾を豫想された中長距離に波瀾があつたのみ。當大會の特質は學校對抗にあるばかりでなくそれが三者鼎立型をとる巴戦に在る。此の點老婆心ながら明大の向上を祈る。

最後に此の競技會がそれでは最高のものであつたらうか？ 自分は「然り」と云ひ切る事が出來ないのを遺憾とする。惡コンデションに苛なまれた競技そのものは先ず論外として、競技會としては未だ未だ難點があつた。未だに、無料入場を強要して整理員の制止も聞かず強引に入場した某當事校學生の一團あり、競技審判員が興奮のあまり自校選手をプール側から聲援する醜態あり。

廣義の社會體育高唱さるゝの昨今、學生は最も模範たるべき精隨を萬人に觀せることが、社會體育界への使命だ。學校水上競技大會は常に、水上日本金字塔の最頂點を進まねばならぬ。それが嘗に、記録ばかりではなく、競技者の態度、氣概、品位、慾を

云へば、觀客者のそれをも要望されねばなるまい。

“輓近は國際競技が皆無な爲に刺戟がなく試合は低下した。”と云ふことは當らぬ。それならばそれなりに、從來の學徒競技の不充分さを改良して、完全なる競技を完成すると云ふ眞義に目標を、刺戟を求むれば良いだらう。

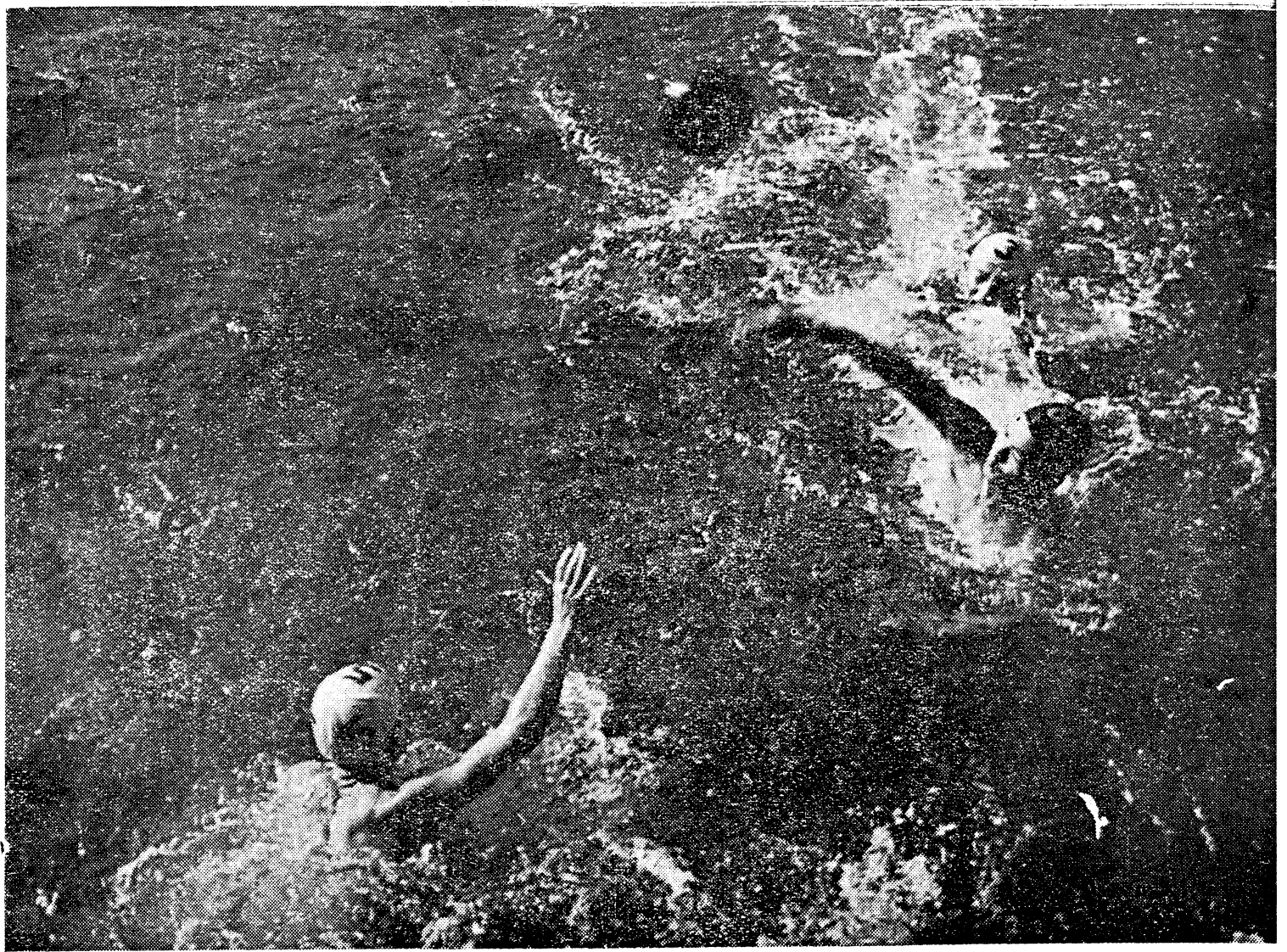
(終り)

〔附〕 記録左の如し。

百米自由形	1. 新井 茂雄 (立大)	58.4
	2. 牧野 兵庫 (日大)	1:01.4
	3. 木田 武次 (立大)	1:02.0
	4. 鷺谷 光明 (日大)	1:02.2
二百米自由形	1. 新井 茂雄 (立大)	2:11.4
	2. 鷺谷 光明 (日大)	2:18.2
	3. 木田 武次 (立大)	2:19.4
	4. 牧野 兵庫 (日大)	2:20.4
四百米自由形	1. 津田 國男 (日大)	4:53.4
	2. 竹内 定男 (明大)	4:56.2
	3. 木間 俊夫 (立大)	4:57.4
	4. 栗原 徹 (日大)	4:57.6
八百米自由形	1. 竹内 定夫 (明大)	10:21.0
	2. 津田 國男 (日大)	10:22.0
	3. 松山 正一 (明大)	10:24.2
	4. 木間 俊夫 (立大)	10:24.8
二百米平泳	1. 大浦誠一郎 (立大)	2:43.8
	2. 吉村喜代造 (日大)	2:55.4
	3. 堤 愛治 (立大)	2:56.8
	4. 山口 正保 (明大)	3:01.0
百米背泳	1. 谷口 利弘 (日大)	1:12.0
	2. 坂本 响一 (立大)	1:13.2
	3. 平賀 孟 (立大)	1:13.4
	4. 飯田 旭 (明大)	1:16.8
三百米混繼泳	1. 坂本、大浦、新井(立大)	3:29.6
	2. 谷口、葉室、河野(日大)	3:32.6
	3. 大野、後藤、豊島(明大)	3:58.6
八百米繼泳	1. 新井、木間、太田(立大)	9:12.8
	木田	
	2. 牧野、栗原、平野(日大)	9:22.8
	津田	
	3. 松山、加藤、竹内(明大)	9:31.0
	後藤	

☆

☆



國民皆泳の歌

末弘巖太郎作詞

一、元氣で泳がう 元氣で泳がう

みな打揃ひ 力をあはせ

體をきたへ 海國日本の

名に恥ぢず

海を恐れぬ 兒にならう

海を恐れぬ 兒にならう

二、元氣で泳がう 元氣で泳がう

みな朗らかに 心をあはせ

技をばみがき 水泳日本の

名にかけて

うまく泳げる 兒にならう

うまく泳げる 兒にならう

三、元氣で泳がう 元氣で泳がう

手にもおちず 波にもおちず 皇國日本の

これからを

になふ雄々しい

兒にならう

になふ雄々しい 兒にならう

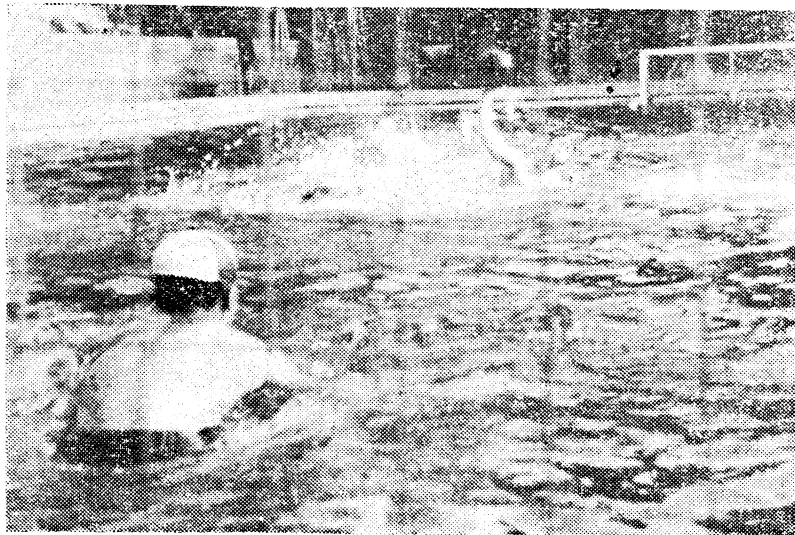
關東學生水球リーグ戦を省みて

公認水球審判委員 伊丹 康夫

●概 評

一ヶ月余に渉る水球リーグ戦も六月二十一日の慶帝戦を最後に幾多の熱戦の幕は閉じられた。

一部に於ては日大の三位より一躍制覇への研鑽努力は稱すべきであり、後から来る者への奮起の指標と成るものである。日大は昨年と趣こそ似てゐるが嘗ての弱點を完全に補正し、自らの特色を高度に發揚して慶早に勝る武器を以て二者を完全に退けた邊、覇者としての王座は揺ぎなき感がある。慶大は昨年と實力も同じ程度と思はれ、個々の技術に精髓し攻撃に最も變化あるチームで、夏の全日本及び秋のトーナメントに於て、日大への挑戦は、全水球ファンの



みならず、水に親しむ者の感覺を高潮させる事だらう。早大は多數の新人を以て對戦せねばならぬ苦境にあつた爲、陣容の整備に苦しい經驗があつたやうに思はれた。最初から攻撃と防備に主力老練者を配して各位置を固定してやつたなら、より以上の實力を發揮出來たのではなかつたらうか。帝大は前三者と比較して柔弱を感じさせ、早大に迫つた以外には平凡で、立大は技術的研究に不足し、文理大、一高は一部として見劣りする。

二部に於ては四大學、三高校の間で嘗て見ざる激戦が展開され、各個のチームには特色あれど、一本勝負では優劣を決し難き状態であつた。東高は防備力に優れ、小さいながら完成されたチームであるが攻撃力に不足を感じしめ、明大と府高に一點の差を以て勝つた邊は、今春の優勝が五年間の努力の結果

と云ふには物淋しい氣がする。明大は二部に於て最も急速に試合を運ぶチームで、練習の効果が實戦に於て見受けられ注目に價する。府立は攻撃に對する方策に缺け、中大、浦高は昨年より一層實力が向上した感があるが全體の均勢を缺いてゐる感がある。拓大、成城と云ひ、この邊の學校は試合が作戦を以て効を奏する機会が多いのではないか。

三部は慈大の全勝優勝への努力は賞すべきだが、未だ二部とは隔りがあるのではなからうか。新加入成蹊高校の奮闘は敬すべく、近き將來二部に於ての熱戦が期待される。商大は過去五年間轉落の一途をたどり、物の哀れを感ずる良き技術的指導者が出て挽回

する日の近きを希ふ。三部は一概に練習不足なチーム、或は水球規則及び技術的知識に缺けたチームが多く、若し誰か、誠實にして合理的なる練習を経れば、二部への進入は容易である。

水に楽しみ、球に戯れる者が勝利への主導者であるのである。

●早日、慶日、早慶戦に就いて

次に僕が審判に當つた三つの大試合に就いて感想を述べるのであるが、自分として、此様な大チームの個々の選手に就いて批判がましい事は云ふ資格はないので、此所ではなるべく主觀を遠避けて述べる事にしたい。従つて下表の如き統計記録表を基として製作して見たので、諸君は再びこの表より過去の戦跡を思ひ起し、新たなる練習の助けとされ度い。此の様な表は一シーズンに六試合を行つた後に於て

は各個人が反省し、新しき練習目的を立てる上に非常に有効と思ひ、日、慶、早、の選手に限らず全参加選手に就いて表して見れば、益する所多いと思ふが二十一校百五十名以上の選手に就いて行ふ事は無理であるので諸君はお暇な時に聯盟に來られて記録表によつて調査される事を希望します。

下記の表は早大戦、慶大戦、早慶戦の三つの試合に於けるものゝみを採用した故、その性質をより以上に現はしてゐるものと信ずる。

校名		日 本 大 學								
種別	相手校	メージャー・ファール			フリー・スロー			得 点		
		早	慶	計	早	慶	計	早	慶	計
川	田	0	1	1	4	2	6	1	2	3
栗	原	4	1	5	0	1	1	0	0	0
平	野	1	0	1	3	2	5	2	3	5
森	田	0	2	2	1	2	3	0	0	0
林	田	1	2	3	1	1	2	0	0	0
葉	室	0	0	0	3	3	6	0	0	0
川	口	0	0	0	0	0	0	—	—	—
總	計	6	6	12	12	11	23	3	5	8

校名		慶 應 義 塾 大 學								
種別	相手校	メージャー・ファール			フリー・スロー			得 点		
		日	早	計	日	早	計	日	早	計
五	百	2	1	3	4	5	9	1	1	2
松	本	1	3	4	0	0	0	0	2	2
河	原	2	1	3	1	3	4	0	0	0
石	原	0	2	2	0	1	1	0	0	0
西	谷	1	1	2	3	1	4	0	0	0
岡	田	5	3	8	0	0	0	0	0	0
小	川	0	0	0	0	0	0	—	—	—
總	計	11	11	22	8	10	18	1	3	4

校名		早 稲 田 大 學								
種別	相手校	メージャー・ファール			フリー・スロー			得 点		
		日	慶	計	日	慶	計	日	慶	計
飯	田	4	1	5	0	1	1	0	0	0
奥	田	2	1	3	2	3	5	0	1	1
鳴	宮	2	0	2	1	2	3	0	0	0
渡	邊	2	3	5	2	1	3	0	0	0
壺	田	5	2	7	1	3	4	0	0	0
深	野	0	4	4	0	0	0	0	0	0
金	樹	0	0	0	1	0	1	0	0	0
吉	田	0	0	0	0	0	0	—	—	—
總	計	15	11	26	7	10	17	0	1	1



此の表に於て反則をメージャー・ファールのみ取扱つたのは、反則の大部分が此のメージャー・ファールであり、フローティング體形に於て直接得點に關係あり、又競合ひに於ける技術の良否が斷定され、審判の笛に對して最も對照となるからである。

尙、慶大戦に於ては延長戦を行つてゐる關係上、總計に於て、早大と比較する時は、延長戦に於て起つたものを減するのが妥當である。その結果、日大はメージャー・ファールは六より三となり、フリー・スローは十一より八となり、得點は平野君の一點のみとなる。慶大に於てはメージャー・ファールは十一より九となり、フリー・スローは八より四となり、得點には變化ない。

此の統計の結果感ぜられる事は、日大の反則は、早慶の半數であり、B. W. 葉室君の反則無しには考へらせられる事多し。又フローティングである飯田君五百木君松本君に反則多いのは、ハンドアウト、或は不適當な保持が行はれてゐる事を物語る。日大の栗原君は競合に於て反省すべき點があると思ふ。壺田君、渡邊君、深野君は少々反則が多過ぎる。若しそれが打算的に行はれてゐる趣きがあるならば、健全なる水球の發達の上に不快なる感を残すのではなからうか。

慶大戦は最初より一對一で延長戦に入つた。延長

戦に入らずとも一見日大に分があるやうに思はれた。それは競合に於て泳ぎに強い日大が遠くにパスを送つて成功して居たが、シュート決まらず、慶大五百木君の一点は G. K. 田口君の失策と思はれたからである。延長戦では日大のフロートに調子が出て反則行為に類するマークをされてゐても、アドバンテージ規則の適用によつて得点としたものが多かつたと思ふ。

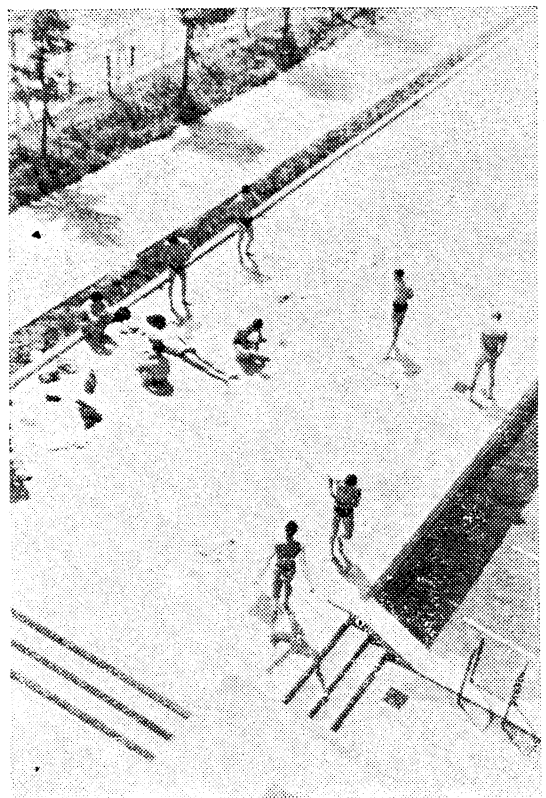
早慶戦はリーグ戦と云ふより、傳統的な早慶對抗戦としての気分が選手に濃厚な故、慶日戦が技術の決戦としたら、早慶戦は闘志の決戦と云へるが、然るに此の二者は分離されるものではなく、一方に偏すれば謂ゆる舊體的な技術となり、迂りのよい爽快な水球戦とならない。唯神経のみが昂じて、小利にあせる結果となれば甚だ面白くない。早大は奥田君を F. W. の主力として得点力の強化を計り、見るものゝ興味をそゝつたが、彼のシュートは一点を打込むのみで反つて防禦力の減退の爲に、慶大の F. W. に鮮かなシュートをされたと云へるが、早慶戦に於ける早大のメンバーより正しき行方であると思ふ。

●今後への課題

リーグ戦の一試合である早慶水球戦が今年のやうに加盟校選手に自由に見る事が出来ず、招待者をも閉出し、各自の立場よりのみリーグ戦中の早慶戦を定期戦と見做してゐる事は、今までこうある事が不可解な事實である。早慶兩校に望むのであるが、後から進んで来る者の爲に胸襟を開いて、我等學生水球界の本分に沿ひ推進力たらん事を切に希望する。尙前述した如き精神的束縛を選手が感ぜぬ環境に於て試合をするならば、最も新しき軌軌を生むのではないかと思ふ。

先頃行はれた公認審判委員會に於てフローテングのマークに対する申合せが種々行はれた。決定事項は別頁に掲載されてゐる筈だが、選手諸君もリーグ戦事實戦を見、審判員の笛を聞いて既に諒解されたと思ふから省略するが、僕がリーグ戦中、時々耳にし、或は新たに審判委員會に於て問題となるのではないかと思ふ事を、體驗したので述べて見る。

それを一番よく行つて居るのは慶大のフローテング F. W. の五百木君であるがフロートに球がパスされると體を沈めて球に到達し、次にシュートの姿勢をとる事であるがそれをマークしてゐるバックマンは敵の體が沈んで居るからと云つて眞直に球に手を



到達させると今迄の規則では反則となり、横から行けば敵に取られるか、或はやはり敵の體の上を泳ぐ事となつて反則になり、そうかと云つてそのまま敵が球を持つまで傍觀して居るには間が空き過ぎてゐる場合である。それに反して F. W. は絶対に有利で水中から球の在處を見定めて、いきなりシュートすることが出来、又前述べたやうにフリースローをもらふ事が非常に多い。

これは果してメジャー・ファールを構成するか？僕はこの F. W. は相手の行動を妨害することなく、且球に對して競技してゐるのであるならば反則ではないと思ふ。そしてこの F. W. の技術は、そう簡単に萬人が眞似出来るものではない事を書き添へておく、下手に行ふならば反つてバックに球をやる結果になつてしまふ。

此の春リーグ戦は参加校二十一校、六十三試合に及び文理科大學の競泳池までお借りして行つた次第です。部數を多くして試合數を減らす事は進歩の上から云つて面白くないが、日割編成に苦勞した揚句學校教練其他の理由で、日割の變更を度々行はねばならぬ如き現在のやうな状態では委員及び役員の方々に於て、或は選手にも迷惑を被る事多く、何か新しい方法を見出さねばなるまいと思ふ。部數を増して試合數が一回自至二回程減じる事によつて進歩を

阻害すると考へる事は一應尤な事なれど、現時の如き社會狀勢を見る時、我々選手は自力によつて新たな社會を創造し、技術の研鑽に努力すべき事を考へるべきではないか。

次には審判員の事であるが、今年は公認審判員の設立を見たり、笛の統制を計る爲にも少數の審判員に依つてやる事により目的を果すべく計畫したのであるが、結果に於てはたしかにそうではなかつた。之は試合数の多い事も原因となつたらうが、今後はやはり、毎年の審判員が頻々として變るを余儀なくされてゐる今日、出來得る限り、員數を減らし、先づ何より笛の統一を行ふ必要がある。慣例としてやむなく經驗の薄き審判員が下部の試合に當り、時々誤つた判定が下されてゐるのは遺憾とする事である。然しそれは笛を吹かれて選手自身に水球の知識が缺けてゐる場合、拭ひ難き害毒となる事をも考へて頂きたい。

●後記

以上甚だ身分不相應な事を書いたかもしれないがこれ等は我々學生水球の向上發展に熱意の餘りの仕業と考へて頂きたい。又これによつて誤解され、曲解され、或は汚流を注ぐ結果となる事があるかも知れないが、それは僕の文章の拙劣な事に原因してゐるのであつて、他に何等原因がないのです。

我々は常に經驗する無形的なる精神力及び活力を基調として日本水球界の健全なる發達に、努力を惜まず、學生としての使命の貫徹に協力せねばならない。

水球審判員申し合せ事項

東西公認の審判員の初顔合せは、去る五月卅一日及六月一日に行はれた。

關西側の意見も略同じであつたが二三實際審判實施上に見解を異にして居るが如く見える點もあつたので、意見の交換を行ひ、後記の如くその見解を統一した。

斯る意味に於て、今回行つた、東西の合同研究會は豫想以上の多大な効果を擧げ得た事を喜ぶものである。今後共機會ある毎に往來して、お互ひに、研究して合ふべきであり、尙一層範圍を擴大して、西部學生聯盟とも連絡して以つて名實共に全國的たら

しめるべきである。

此所に御多忙中にも拘らず此所に遙々上京されし關西水球審判員諸兄に對し深く御禮を申し上げる次第である。



申し合せ事項

上野君提案

◆一、縫合球（革紐にて編むもの）の公認試合の使用を認める事

決定 年鑑所載の規約は變更する事なく、資材難の折柄之を黙認することす。

◆二、レフェリーボルの投入場所に関する疑議

決定 現在球の落ちる場所が餘りに遠きに過ぎ、却つて不公平となる場合あるにより、より近くへ投入することとす。

◆三、アンダーウォーターの範圍に関する疑議

決定 故意に行はれたと認めらるゝ時に限り反則となすこと。

故意に行はれたりと認められざる時は反則に取らず。

◆四、フロートイングホワードのキープの限界に関する疑議

決定 本問題は一步誤れば、泥試合を誘發する性質の問題なれば慎重に審議を要するものなり。

即ち、キープする事は一種の戦法なれば、敢へて之を禁止せず。

但し防禦側との揉み合ひが必要以上に激化すれば其際には攻防兩者を同時に退水とすることとす。

◆五、タツクルの限界に関する疑議

決定 球を保持せる相手方競技者に對して球を奪ふ目的の行動は之を正當なるタツクルと認める。但し球を保持せる相手に對し球を奪ふ目的以外の行動は之を反則として取るべきである。

例へば、右手に球を保持せる者に對し左側より球を目掛けつつ攻撃しその肩又は頸に手を掛け沈める如きは正當なるタツクルとす。



防空と無筋プールの建設

日本水上競技聯盟常務理事 深谷俊明

體位向上、競泳を目的とするプールが最近防火池防空池、として其の二次的効果を検討されつゝあることは注目すべきことであつて、最近内務省防空研究所に於ても「防火池」としての「プール」を研究中の様に仄聞して居るが事實「防火池」「防空用水池」として變名された立派な競泳用プールが事變下にあつて、セメント、鋼材等の重要物資を活用して一部に出現して居ることは誠に歡ばしき現象と考へられる。併し乍ら現状の都市形態論的防空計畫に於て、防火設備は決して満足的なものではない。防空は國防の最重要なる一面であり、之が設備には巨額の經費、資材、勞力を要するものである。恒久對策を樹立するに當り、決して姑息的な應急策にのみ満足すべきでは無いと考へられ、一應現行防空法に就て検討して、防空上プールの必要を論じ、又一方鋼材節約を主眼とした無筋プールに就て述べて見たい。

防空とプール

現行防空法は昭和12年4月法律第47號を以つて制定せられ、同10月より施行されて居る。

第1條 本法は於テ防空ト稱スルハ戰時又ハ事變ニ際シ航空機ノ來襲ニ因リ生ズベキ危害ヲ防止シ又ハ之ニ因ル被害ヲ輕減スル爲陸海軍ノ行フ防衛ニ則シテ陸海軍以外ノ者ノ行フ燈火管制、消防防毒避難及救護並ニ此等ニ關シ必要ナル監視、通信及警報ヲ、防空計畫トハ防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資料ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フ

第2條 防空計畫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ地方長官ノ指定スル市町村長防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ主務大臣又ハ地方長官ノ認下ヲ受ク可シ

第3條 主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ大規模ナル事業又ハ施設ニシテ防空上特ニ必要アルモノニ付行政廳ニ非ザル者ヲ指定シテ防空計畫ヲ設定セシムルコトヲ得

第4條 防空計畫ノ設定者ハ其防空計畫ニ基キ防空ヲ實施シ又ハ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲スベシ

以上防空法の一部であるが、之が内容は通信警報設備を始め貯水槽、消火栓、ポンプ、木造建築物の防火改修又は防毒衛生、綠地等の各般の施設並に資材の整備に關係あることは十分窺れるのであるが、こゝに貯水槽としてのプールの價値を検討し、プール建設提唱する次第である。

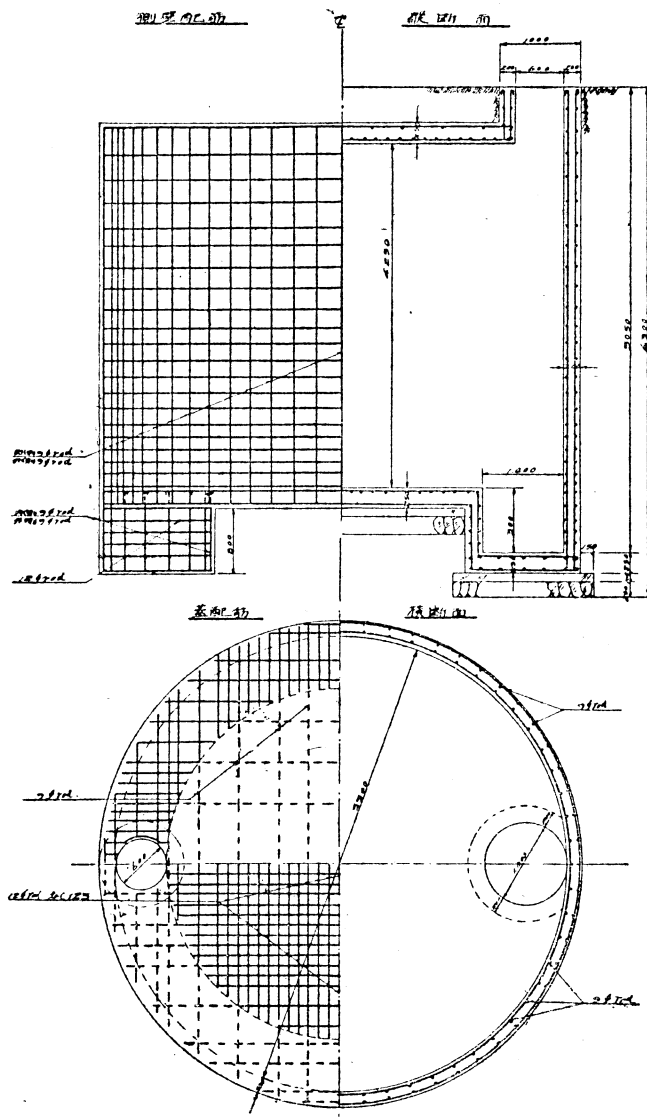
一般に消防自働車ポンプの携行する「ホース」の長さは200m、1臺放水量1分間300gal故3臺で30分間消火に耐へる設備として東京市では400m間隔に100m³の貯水槽を作る計畫を樹立し、豫算の關係で第1次調査の場合には次表の如き箇所其の位置が選定されたのである。

種別	箇數
學校	32
公園	24
神社	25
佛閣	25
官公衙	27
町會、組合	17
民有地（無償使用）	44
計	194

表：—1

其後調査の結果1,000箇を必要とし、都市計畫決定として343箇、完成70箇と報告され（昭和14年）完成70箇中プールとして設けられたものが27を算せられる状態である。併し乍ら普通の貯水槽の構造は第1圖の如く、埋没するものであるが、筆者は之をプールとして平時活用して一般市民、小國民の體位向上に供し、常に水に親しみを待つ大きい隣組を無言の中に組織することを希望して止まない。

我國都市防空保安上恐るべきは破壊彈より寧ろ焼夷彈の襲撃による火災であることは、我國諸都市が



第 1 圖

世界に其例を見ない木造建築を主として構成されて居ることより考へば當然である。其慘禍は關東地震に伴ふ火災並に昭和9年の函館大火災、昭和15年静岡大火等我々の記憶に新たなるものがある。筆者は消火に就て一應消火水源の検討が必要である様に考へて居る。即ち一例ではあるが静岡大火に際し、安倍川の如き多量の伏流地下水を有する静岡市に於てすら井戸水に依る消火法は余り省みられず、實際問題として消火水源は地表水を求めたとの事である。此の點貯水槽を地中に築造することは利用上其價値を割引ざる可く、之をプールの如く地表水として常に堪へるならば一層効果的と考へられる。普通の貯水槽は容量は100m³程度であるがプールとせば其使用面積が大とはなるが25mプールでは普通250~450m³の貯水が可能であり、十分其目的を達することが出来るものである。尙後述の如く設計方針を改め

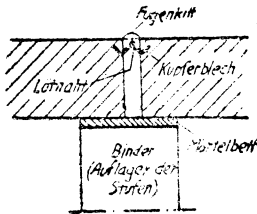
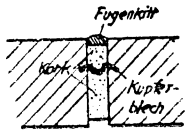
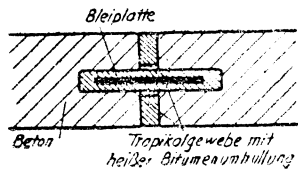
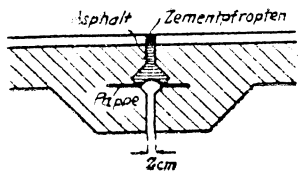
ば鋼材は普通貯水槽と異り之を必要とせず、又之が公園、緑地國民學校に築造される時の小國民の歡喜は如何であらうか。國民體位向上の見地よりもプールとして築造するが得策なることは勿論である。正に一石二鳥の策と云へるであらう。之亦 N. S. R 提唱の國民皆泳の目的も自ら達成せしむるものである。一般に防空、防火的諸設置が遅々として居るは之が Negative と考へられ勝ちであり、之を Positive に方向轉換せしむることは相當考慮されて然るべきものと考へられる。

無筋プール

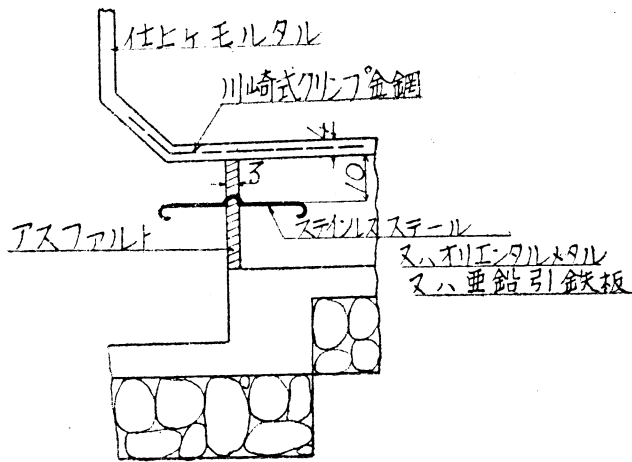
今迄プール建設には相當鋼材を必要したのであるが、戦時下の必需品である鋼材を出来る限り使用を避けることは今日土木建築技術家の責務であり、茲に鋼材節約の國策に則り、聯盟内に於ても無筋プールの設計要望あり、最近設計を完了し、沼津高女に於て創めて築造されることゝなつたのであるが、尙各地に於ても出現せんとして居る。又本聯盟内に故石本巳四雄博士の後任として渡邊貫博士が科學施設研究會を復興され、その一課題として無筋プールに就て検討することゝなつて居り、完全なるものも近く實現されることであらう。

プールは他のコンクリート構造物と異り漏水に對して、設計、施工上細心の注意が肝要であることは云ふまでもないことであるが、之を無筋コンクリート造とする以上コンクリートの溫度變化並に收縮に依る龜裂防止に對して當然十分の對策を考へねばならない。此の點鐵筋コンクリート造の場合と異り設計法に變化を伴はねばならない。本雑誌の性質上専門的なことは省略するも設計方針として側壁は重力式擁壁の計算とし、床版は隅部に於ける曲モーメンを無くするために絶縁した。尙床版の溫度變化並に收縮による龜裂防止のため數箇のブロックに切り、之等施工接手を伸縮目地として特殊な工法を應用した。即ち伸縮目地としては第2圖の如き工法があるが、第3圖に見る如く銅板又は之が代用品として亜鉛引鐵板或はオリエンタルメタルを圖の如く挿入し、之をアスファルト類で十分保護し其上を川崎式クリップ金鋼の類で仕上モルタル中に被覆するも一案と考へられる。尙完全な、より進歩的な工法は科學施設研究會の研究課題とされて居る。

次に鐵筋コンクリート造の場合も勿論ではあるが

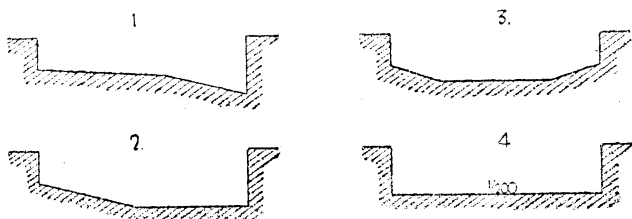


第 2 圖



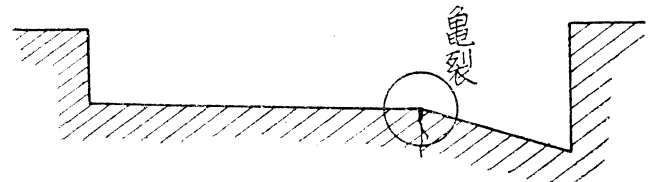
第 3 圖

無筋コンクリート造プールに於ては殊に不同沈下を十分警戒しなければならぬ。之に依る龜裂は漏水の大きい原因となるものであつて、基礎地盤に對する對策に遺憾無きを期すべきものと考へる。即ち基礎杭の必要なる場合もあるが、普通の地盤に於ては水深 1.50 前後のプールでは割栗石の搗固めを十分にすれば其の必要は認められない。併し乍らプール断面は不同沈下に大きい原因となるものであつて無筋プール断面は飛込を考慮して第 4 圖の(1)又は(2)の如き型式が多いが、一般に水深の大なる方に傾斜の傾向あり、溢水溝が無用の長物視されるものも認められ、夫等の多くは床版に無数の龜裂が生じて居る。



第 4 圖

依つて斯る断面は無筋プールとして推奨能はざる型式であり、(3)は施工に困難を伴ひ結局(4)型式が採用さるべきであらう。底勾配は排水、掃除等の諸點を考慮して最少 $1/200$ 勾配が必要であつて、理想として $1/100$ 勾配が考へられる。鐵筋コンクリート造プールの一例ではあるが某ホテル内のプールに於て第 5 圖の如き型式を採用し折曲部に通し鐵筋を挿入せざ



第 5 圖

りし爲、之に満水せし處圖の如く 1cm 程度の龜裂を生じ、漏水甚だしく、之を修繕すべく空水にすれば元通り密着し、常に扉の蝶番の如き働きをなし、修繕に困惑した例もあり、無筋プールに於ては斯る型式は避くべきであらう。

側壁計算は前述の如く重力式擁壁として設計すべきであつて、水深 1.50m 程度のプールに於てはコンクリートの引張應力度を 2kg/cm^2 程度認め且つ十分の施工をすれば鐵筋の必要は認められない。之が計算には過載荷重として群集荷重を考慮して次の計算が必要である。

- i) プール満水 裏埋土乾
- ii) プール空水 裏埋土濕又ハ凍
- iii) プール満水 裏埋土濕

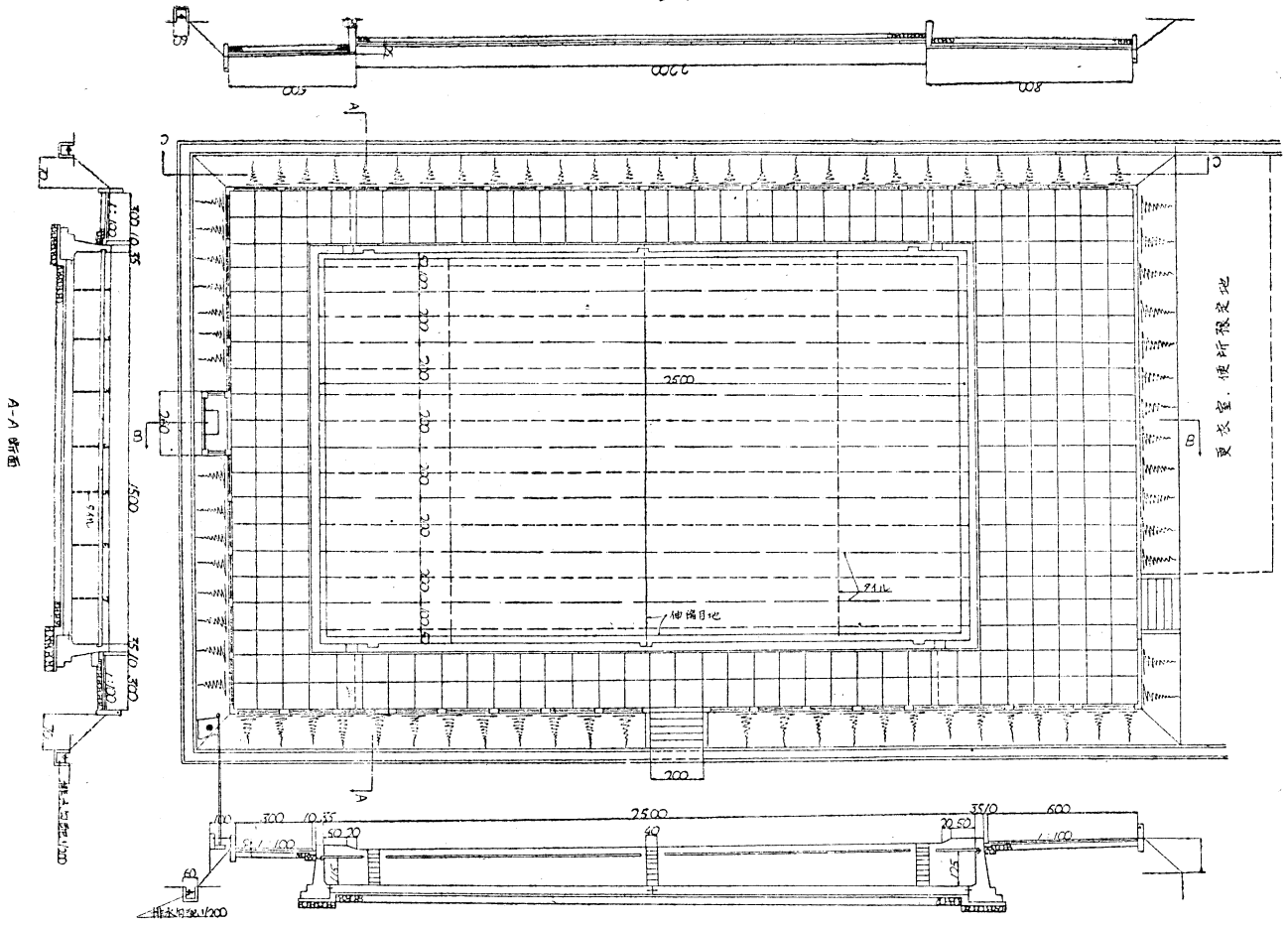
プールの水深は水の抵抗に相當影響があるものであつて、平均水深の標準は之亦科學施設研究會の研究項目となつて居るが、利用、習慣上より $1.20 \sim 1.40$ 位を推奨したい。

尙細部に涉つて述べ度きも之は他口に譲り、以上の如き設計方針により圖：—6, 7, 8, の如き 25m プールを設計した。

之が材料并に費用は大體次表：—2 の如き結果となる。

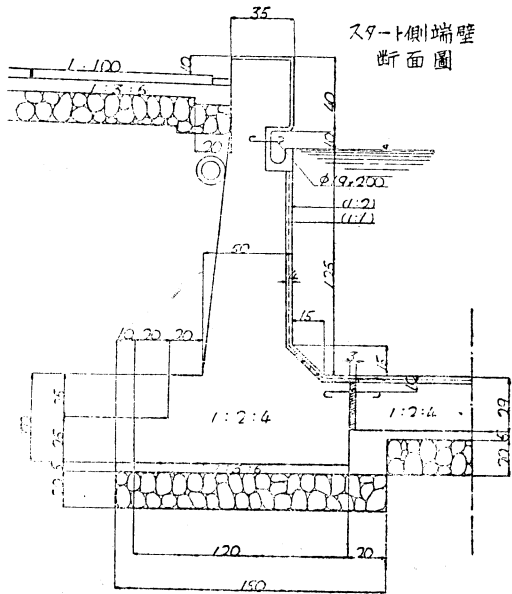
本プールは前述の如く過大の應力を生ぜざる様軍需品であるセメント、鋼材の節約上、プール維持費の輕減上、給排水を速にし之を衛生的となすべく出來る限り淺く設計したものであるが、飛込用プールとしては別途に考慮すべきであらう。

図 5-2

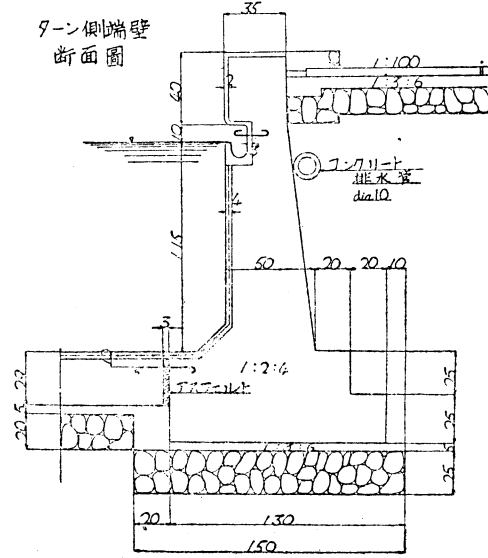


B-B 断面

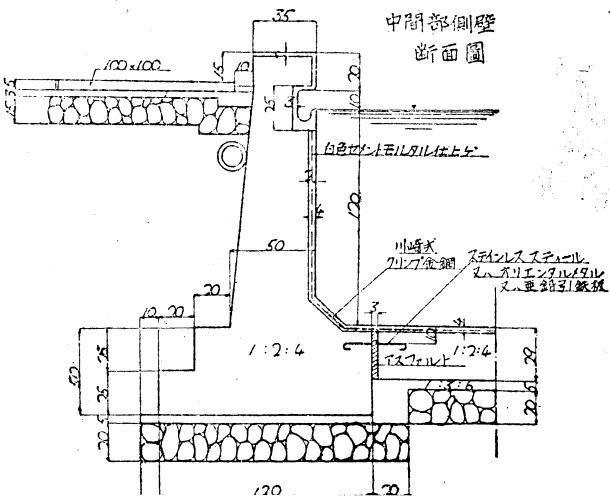
図：- 6



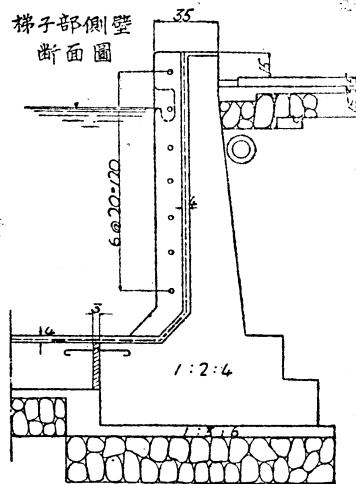
スタート側端壁
断面図



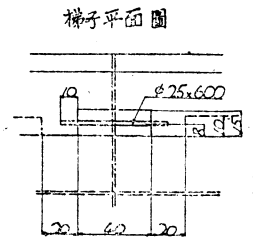
9-側端壁
断面図



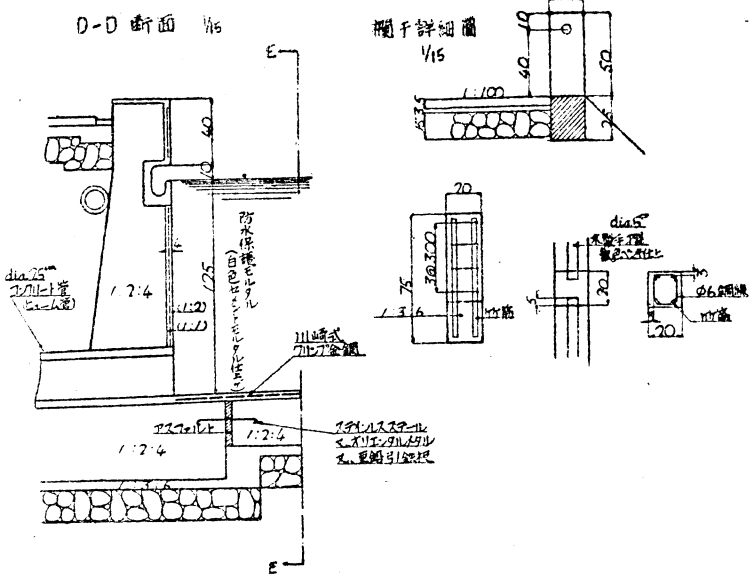
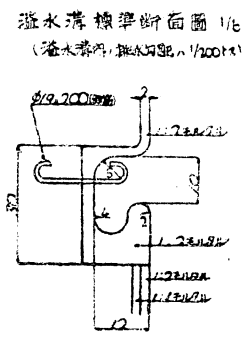
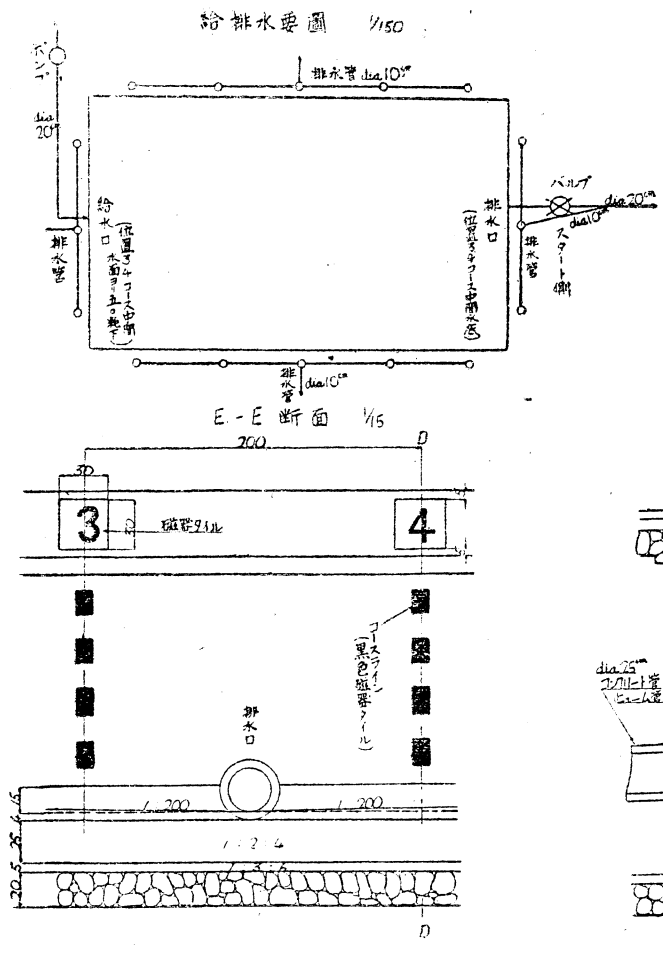
中間部側壁
断面図



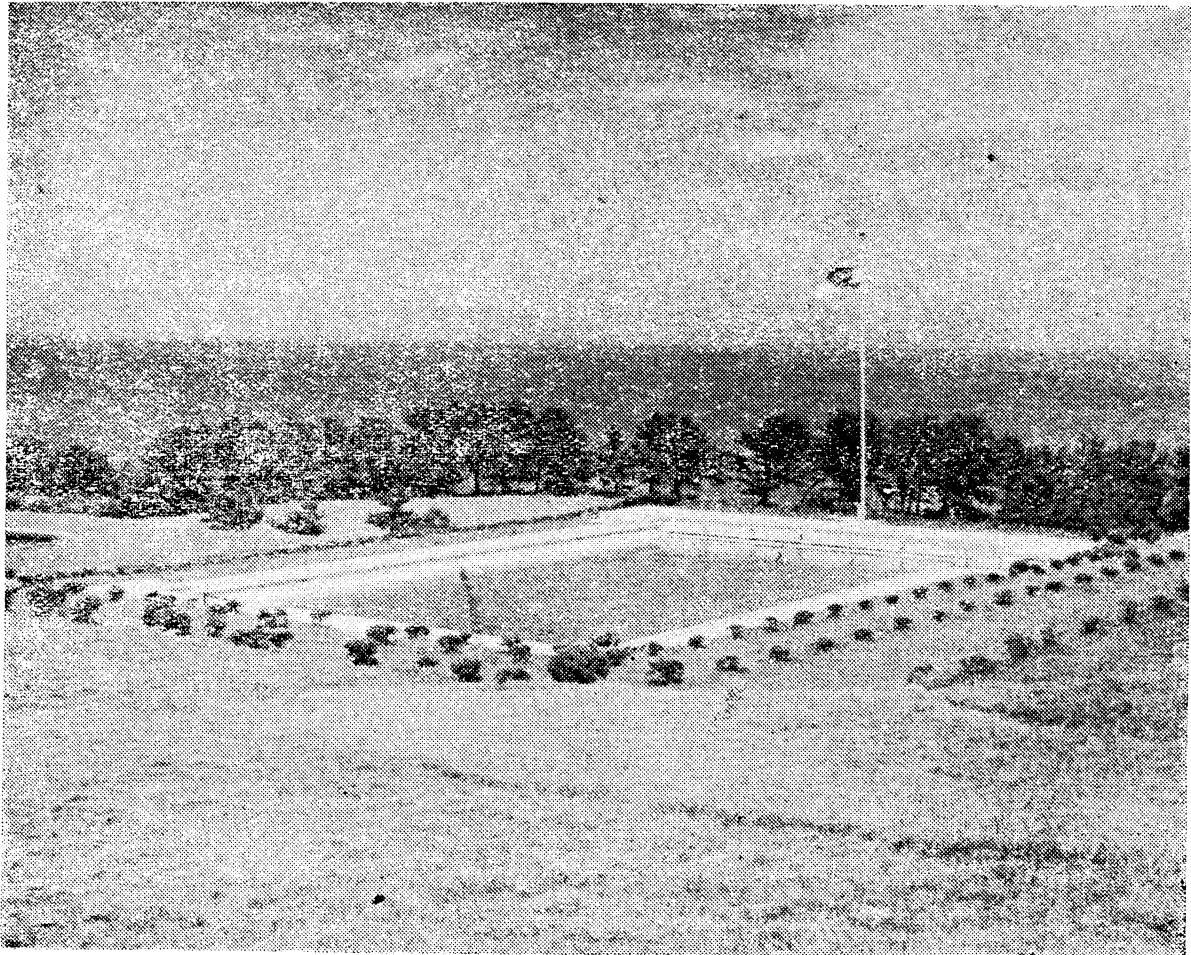
梯子部側壁
断面図



梯子平面図



圖：— 8



圖：— 9

材 料 表

名 稱	數 量	單 價	小 計	名 稱	數 量	單 價	小 計
コンクリート 1:2:4	m ³ 178.24	圓 30.00	圓 5347.20	ターバックルφ19mm	1式	25.00	25.00
コンクリート 1:3:6	m ³ 82.90	25.00	2072.50	竹 筋	1式	10.00	10.00
モルタル 1:1	m ³ 9.42	43.00	405.06	スターラップ φ6mm	1式	10.00	10.00
モルタル 1:2	m ³ 13.06	33.00	430.98	梯子金物 φ25鋼棒	1式	15.00	15.00
型 枠 損 料	m ² 338.80	0.50	169.40	コースライン用タイル	1,000枚	0.09	90.00
栗 石	m ³ 133.40	6.00	800.40	文 字 タ イ ル (14+8)枚	—	0.50	11.00
目 潰 砂 利	m ³ 50.00	3.50	175.00	フ ロ ー ト	1式	200.00	200.00
ア ス フ ァ ル ト	m ³ 0.74	—	10.00	手 摺 用 木 材	1式	150.00	150.00
盛 土	m ³ 395.00	1.50	592.50	國 旗 掲 揚 臺	1式	60.00	60.00
切 取	m ³ 354.02	1.00	354.00	給 排 水 設 備	1式	1000.00	1000.00
搗 固	65人 m ²	3.50	227.50	階 段	3	70.00	210.00
ク リ ン プ 金 物	m ² 60.00	0.50	30.00	手 摺	6	7.00	42.00
伸 縮 金 物	m ² 30.00	1.20	36.00	雜 費	—	—	300.00
法 拵 芝 植	m ² 255.00	1.50	382.50	合 計	—	—	1,3156.04

注意 地盤悪しき場合は杭打費を加算するものとす

表：— 2

尙無筋コンクリート標準示方書も近く土木學會に於て制定されんとして居り、之を基礎として設計施工に就て十分研究すべきであらう。

再び防空とプール

防空施設としては軍防空施設を第一に挙げなければならないが、消火施設としては建築物の改修は勿論最も効果的なものは云ふ迄もなく上水道であり、補助的に防火池の存在が必要となる。併し乍ら東京市の如きは飲料水夫自體が既に不足を訴へ、市民は昭和15年の夏期に極端なる立場に置れたのであるが又空襲時の上水道破壊を考慮する時寒心に耐へず、都市に防火池の存在は大きくクローズアップされて來るものである。恰も一家の中に食糧を確保すると同様に都市の一區劃と適當なる消火用水を保持することは當然である。關東震災時プールが飲用水源とされ又家庭用水として使用されたことは帝都の辛き經驗である。

最近隣組に於て家庭用防火用水池として 15m³ 程度のものを築造して居る箇所もある様であるが、防火陣は相當系統連絡が必要であり、筆者は各國民學校に、又小公園、綠地にプールを設置することを提

言したい。プール→防火池→國民學校 或は 國民學校→プール→防火池として設置され、又各々が組織的に有機的に連絡して其効果を擧げることがを要望する次第である。即ち單に防火の目的に沿ふばかりでなく、第二國民の體位向上に資し畢竟戰時下に於ける物資活用とも云へるであらう。

一方プールと云へば25m, 50mを連想するものではあるが公認の競泳池を除いては其必要は無く、敷地の形狀并に風致に合致する様圓形橢圓であつてもよいのである。單なる貯水槽をプールとして使用することも考へられるが、水深大となり、游泳には危険であり、非衛生的であり當然泳ぐためにはプールとしての設備は必要であらう。

即ち學校、工場に於けるプールは好適の防火池であり、「體育道場」である。敗戰國フランスに於てすら各學校に1億5千萬フランの經費でもつてプール設置案あるやに聞くのであるが、我國に於てもN, S, R提唱の國民皆泳の趣旨を徹底せしむべく、國策に沿つた「防火池」としての無筋プールが各地に集團による勤勞奉仕の結晶として實現することを望んで止まない。(16. 3. 30)

驚異の新人



ボツブ・スミス

第五回 デューク・カハナモク記念水上競技大会
の詳報

日布時事社の好意により掲題競技会の詳報及び写真
を入手したので、之を基礎として同大会の状況を
當編集部で編纂した。同社に對し誌上にて厚く御禮
を申上げる次第である。

第一日 五月七日

期待せられた第五回デューク・カハナモク水上競技会
第一日は五月七日午後六時からホノルルの戦勝記念水泳場（百
米塩水）で行はれた。米大陸の四豪キーフアー、ジャレツ、ヘ
ロン、ヘニイ、に對し日系米人コーチ坂本宗一麾下の精銳、新
進スミス始め廣瀬、バルモア等のマウイ倶楽部の泳手が如何に
戦ふかに興味が懸けられ、記録的にも世界記録が期待せられる
といふ譯で觀衆二千餘名に達し布哇としては未曾有の盛況裡に
競技が行はれた。

期待に背かずスミス先づ四百米に 4:44.1 の大記
録を樹立してメデイカが伯林オリンピック優勝の際
作つた長水路世界最高記録 4:44.5 を破つたのを始
めとして、背泳の王者キーフアーが百米背泳の途中
百碼に 60.2 150 碼背泳に 1:35.6 と二個の全米長
水路新記録を樹立し、ジャレツ又 80 碼自由形にワ
イスミュラーの保持する全米記録 40.6 を破る
40.3 の新記録を作つた。其他宮本千代子嬢が百米背
泳に 1:23.3、三百混泳に 4:40.0 の二個の布哇新記
録を樹立し此の他男子三百米混泳と合せて第一日の中
に合計七種目に新記録を産出して、驚くべき成果
を収めた。結果左の通り。

△男子百米自由形

1. ジャレツ (タワー倶) 58.6
2. 廣瀬 隆 (布哇大)
3. ヘニイ (ミシガン大)

廣瀬スタート良く力泳して五十米迄ジャレツを少
差乍ら抑へたが、後半ジャレツ好ピッチで二スト
ロークの差で一着、ヘニイ又ラスト
スパートで廣瀬に迫り、同時
にゴールに入り同着となつた。

○四百米自由形

1. スミス (マウイハイスク
ール) 4:44.1
2. ヘロン (無所屬)
3. ヘニイ (ミシガン)

今年冬季室内シーズンに慧星
の如く現はれて、短水路乍ら
220碼に 2:10.2 440碼に 4:42.9
の室内シーズン隨一の好記録を
出したスミスが、全米室内選手
権大會 440 碼の第一、第二位を
獲得したヘロン及びヘニイに對
して如何に戦ふか、全米の第一

人者を決定する大レースとして期待せられたが、ス
ミス最初より好ストロークでヘロン・ヘニイを問題
にせず、百で五ストローク、二百では 2:15.5 の好
タイムを以つて八ストローク、ゴールでは約十三ス
トロークを離して美事米國隨一の泳手たるを實證し
た。日本の四百の選手、新井、津田、宮本の三君あ
たりが之に参加して居れば、全くオリンピックに比
すべき豪華なレースが展開せられであらうと想像せ
らるるのは惜しみてあまりある。

- | | | |
|----------|-------|--------|
| ○女子百米背泳 | 宮本千恵子 | 1:23.3 |
| ○" 百米自由形 | 宮本千恵子 | 1:12.2 |
| ○男子百米背泳 | キーフアー | 1:06.5 |

○男子三百米個人メドレー、ライバス 4:01.5

○女子 " 宮本千恵子 4:40.0

○男子三百米混泳 米本國チーム (キーファー、ヘニイ、ジャレツ) 3:25.8

第二日 第一日に於けるスミスの好調を見て、記録的興味が倍加したが、果してスミスは期待に背かず二百に 2:10.8 八百に 10:03.0 と何れも全米長水路最高記録を樹立した。之は二百米に於ては新井、八百に於ては牧野、天野、根上の他全世界に於て未だ嘗つて日本人以外には出した事のない優秀なもので、その實力は「水上日本」を脅威するに足るものとして注目に値ひする。

200 米自由形

1. スミス (マウイハイスクール) 2:10.8

2. ヘロン (無所屬) 3. ヘニイ (ミシガン)

220 碼全米室内の本年度優勝者ジャレツ、スミス何する者ぞとの必勝の意氣物凄ぐ、最初より飛出して力泳し、百米を61.0で先づターンし、少差でスミス・ヘロン同時に之に續ひたが、百五十米に於てジャレツ、コースを誤り、ロープに引懸つて停止し棄權するに至つた。之に對しスミスは後半好調に滑つて二位のヘロンを三ストローク離し 2:10.8 の全米新記録を樹立した。大會役員は之を誤つて「世界記録」と發表した爲にスタンドは沸いたが、翌日の日布時事では「世界長水路最高記録は日本の新井のである」と書いて、布哇にも記録通の居る事を示した。

800 米自由形 1. スミス 10:03.0 (全米新記録)

スミス獨泳の感あり、フラナガンの米國記録 10:07.6 を破る大記録である。

○女子二百米平泳 樋口光子 3:23.1

○女子三百米混泳 マウイA組 4:15.1(布哇新)

○女子二百米自由形 宮本千恵子 2:39.5(布哇新)

○男子二百米背泳 キーファー 2:28.8(布哇新)

○男子二百米平泳 バルモア 2:53.6

○女子四百米混泳 マウイA 5:12.5

○男子四百米混泳 米本國チーム (ヘニイ、キーファー、ヘロン、ジャレツ) 4:02.2

○室内大會

第五回デュークカハナモク水上競技室内大會は五月十三、十五兩日エリザベス水泳場(廿五碼)で舉行せられたが、折返し技術の巧妙な米國選手に對しマウイの各選手は試合慣れもせず、折返しでは必ず損をするであらうから、戶外大會で苦戦した米本國

の三銃士も室内大會に於てはムザムザとスミスに破れまいと豫想せられ、タワーズ倶楽部のコーチで先年日本にも來朝したスタンレー ブラウンジヤも亦米國チームの優勢を豫言したが、室内大會に於てもスミスは米國の三銃士を見事征服して完全に米國一の速泳泳手なる事を立證した。

○二百二十碼自由形

1. スミス 2:07.7 (世界新) 2. ジャレツ 2:09.6

3. ヘロン 2:10.2 4. ヘニイ 2:10.8

戶外大會に於てロープに引懸かかり途中棄權の已むなきに至つたジャレツは必勝を期して強引に飛出し 50 碼 25.0 100 碼 54.0 と好調に滑り出したが 125 碼迄之と一身差で喰ひ下つて居たスミスは奮泳してジャレツに肉迫し 150 碼ではタッチの差で首位に出でた。タイム 1:25.5 かくてジャレツとスミス、ヘロン・ヘニイの間に猛烈なる接戦を展開したがラストに強いスミス他の三者を完全に征服して、世界新記録を以て優勝した。ジャレツ、ヘロン・ヘニイ共に自己の最高記録を出して居り、之を破つたスミスの實力は只驚嘆の外はない。220 碼の現世界記録は1935年メデイカがシカゴに於て作つた 2:07.9 である。

ブラウンジヤも此のスミスの強味の前に胃を脱いだ形で、此の 220 碼のレースは彼の24年間の水泳生活の中で隨一の好レースであり、スミスは、メデイカ、フラナガンに優る世界一の速泳泳手であるとの折紙をつけた。かくて、布哇の産んだ不世出の泳手デュークカハナモクを記念するこの有意義なる本大會に於てカハナモクに匹敵する泳手スミスを獲得した事は布哇朝野の驚喜する所となつて、一時「水上日本」に首位を奪はれた布哇が、往年のカハナモク・ケロハ時代を再現する事又近きにあると言はれる。

通稱「キヨ」事仲間清を大成し、今回又スミスを育成した。マウイのコーチ阪本宗一の名は斯くて世界に喧傳せらるる事となつた。仲間清は目下盲腸手術の爲め本シーズンは出泳して居ないが、全快の後好敵スミスと共に研鑽の功を積らば、メデイカの有する自由形の各種目を破る事は不可能ではない。日本に取つて頑強無比の好敵が出現した譯である。

○150 碼個人混泳 1. 廣瀬 1:36.0 2. ヘニイ

若冠廣瀬がヘニイをタッチの差で破つたのは偉とするに足る。

220 碼平泳 1. カロス・ライバス 2:42.4(布哇新)

300 碼個人混泳 1. キーファー 1:28.1 (全米新)

東京横濱八王子三市對抗女子水上競技大會記

白 山 廣 子

関東水泳協會の紀元二千六百年奉祝記念事業として昨年より催されて居る本大會は第二回を其期日時間を繰上げて六月二十二日午後一時より場所も榮ある神宮プールにて開かれる事になりました。打續く梅雨期の一日幸ひにも晴れ上つた此日、乙女等の笑顔は殊更に、漸く二年目を迎へる本大會が、早堂々

此大舞臺に繰出した心臓の強さも、内、必らずしも平らかな物ではなかつたのです。然し何とかして成功裡に終らせ度いと願ふ大會役員等の日頃の一念先づ天候に幸した事と信じます。此處に到るまでの協會役員諸兄の事務的御努力は勿論ながら、当日は役員四十名、選手五十名餘

計百名近い女性が相集ふ日章旗の下、此等女性の盡力によつて順次プログラムの進行された事は誠によろこばしく事でした。

競技は混繼泳に始まり、流石に此處には三市共新人の顔觸を見ず、記録も豫想通り八王子の優勝東京横濱の順位に落ち着きましたが人材多い八王子として作戦上の組合せではありませうが此處に大澤ふさ嬢が出て居れば當然劈頭より大會新記録によつて飾られた物と思はれました。

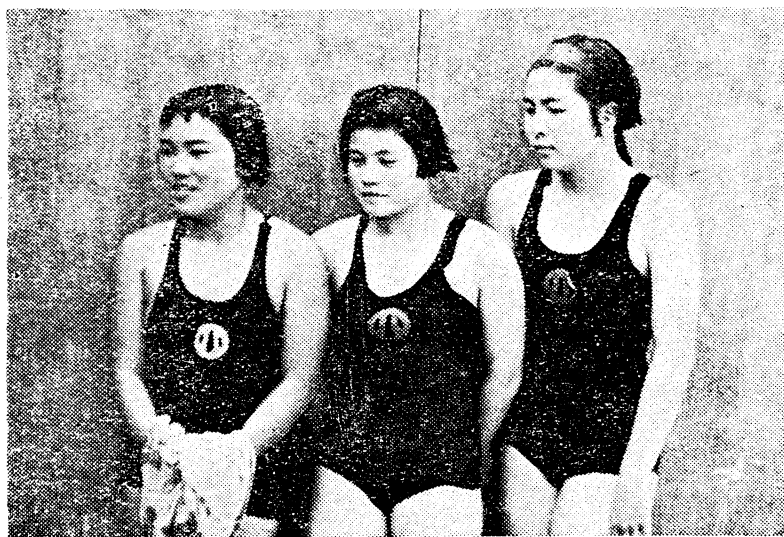
四百米自由形にては古豪三浦嬢を見なかつた事は一抹の淋しさであり、又三浦嬢のよき相手役である旗野嬢が百、二百に出場して居るので、言はゞ八王子は第二陣を以つて固めた様に見え、小澤嬢にも未だシーズン始めでもあるか期待した進境は見られませんでした、八王子東京横濱軍共に新人の活躍あり中にも八王子久保田嬢は大きい手の泳ぎ振りによ

く先輩佐藤松崎を押へた事は頼母しい限りでした。

五十米背泳にては大澤ふさ嬢健在にて大會新記録を樹立、飯島嬢三米程おくれましたがよく迫つて東京軍の爲大いに健闘されました。此處には横濱軍得點なく惨敗を喫しました。

百米平泳 期待望の平泳陣第三水路の水路の蔭山嬢

第五水路の野中嬢、第六水路の三枝嬢等スタートより大差なく、互ひに接戦手に汗を握らしめ五十米ターンにては第三水路稍おくれ歸路七十米邊りより三枝嬢猛烈に頑張り野中嬢と競合つてゴールイン同タイム一分三十五秒を持つて三枝野中の着順すぐ續いて蔭山嬢一分三十六秒共



左ヨリ 旗野、佐野、野中

に大會新記録と云ふ豪華版でした。

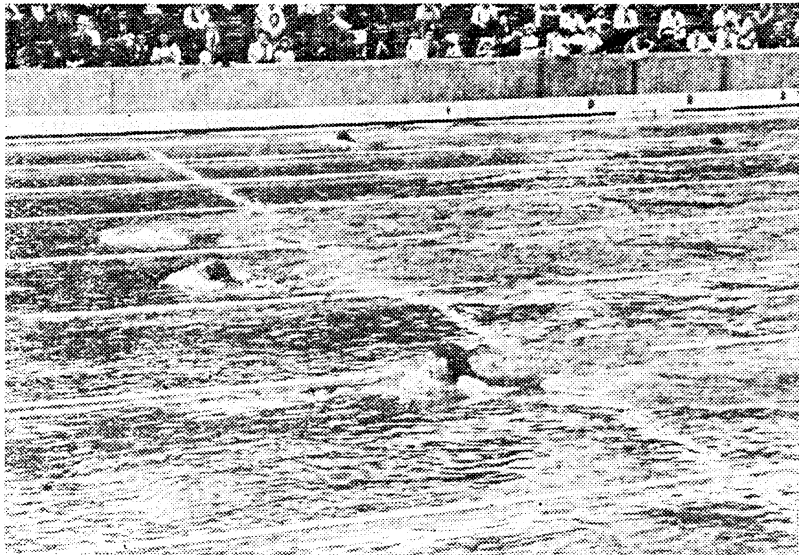
百米自由形にては又此處にても東京横濱共に選手無く、易々として三着まで八王子の占める所しかも好調の旗野嬢は一分十九秒〇にて大會新記録シーズン始めなから〇クラスの實力を示した所誠に力強い物がありました。

二百米自由形も百米同様八王子の獨舞臺にて第七水路の旗野嬢ますます元氣に始めよりリード第二水路の加藤嬢（八王子）もよく此に續き第五水路の進藤嬢百米ターンまでは又よく東京軍の爲氣を吐いて居ましたが百三十米位より稍おち第四水路の小澤嬢は顔馴れた戦法にてグングン迫り遂に三着に食ひ込ました。一着の旗野嬢は前大會の同嬢の記録を縮める事三秒弱、二分五十六秒四を以つて大會新記録を印しました。

百米背泳 背泳の不振は此處にも見え一分三十秒

を割る人もなく、特に飯島嬢は練習不足と見え、一着の一分三十一秒〇に次ぐ一分三十六秒では些か心細い物に思はれました。

二百米平泳 役者揃ひの本競技はスタートより三十米見事な一列横體五十米ターン後より次第に左翼が出て百米にては蔭山嬢について横濱軍の第四水路



平泳の接戦

池尾嬢よくついて居りましたが百二十米邊より流石に前年度の勝者よく其のペースを心得て三位、四位の邊りよりグングン迫り百五十、六十漸く大勢を定めて参りました。ラスト十米前邊りに於ては二者接戦の結果、二米の差を以つて野中嬢の優勝となり見事此競合ひの結果は三位までの新記録となつて現れました。最後の二百米繼泳、東京軍よく頑張つて八王子に迫りラスト飯島嬢よく追かけましたが三米の差を以つて破れ、横濱軍は次第に兩軍に置かれ僅かに昨年同軍チームの残した記録を更新するに止り、明年への一増の努力が望まれました、各軍の得點を書き添へれば八王子九十二點、東京五十八點、横濱二十二點更新された記録は計十一に上りました。

エキジビションとして行はれた飛込みは東京軍の活躍數名、新人にしてあれ程の技量を見るにつけ、今後こそ今少しの域に達するまで此等の選手諸嬢が練習を繼續して下さればと切に望まれた事でした。

水球も四年來東京横濱の二チームによるゲームでは進歩を望む方が無理かも知れませんが、此度は競技時間の短かつた爲とボールの動きの活潑でなか

つた爲に競技者自身等も競技に熱する暇なく又見る者にも只兩軍の沈めつこ見物と云つた程度を免がれなかつた事、又審判の目が届けば必定退水命名を受けねばならぬ行爲も私共の目に映つた範圍でさへ二三ございました。こうして見ればまだまだ専門家より今後の發展の爲には伺はねばならぬ御注意も大にある事と存じます。我々のもつと水球競技を見る機會を作り、又指導を受ける折を得る事が出来れば中等學校女生徒にも容易に樂しめるよき團體競技であると信じます。

飛込水球が對抗競技に加へられる日も程遠からずと念じつ、「それよりも横濱軍はダランがないぞ」とのお叱りを頭上に痛く感じては今年はまだ一度「敗戦の將馬を語らず」とか喉元の一塊グツト飲み下して引き退る事に致します。



東京軍 横濱軍の女子水球

水泳指導者協會總會

日時 昭和十六年六月二十九日(日曜日)午後四時

場所 東京水交社

出席者(特別會員)加福均三 松澤一鶴 佐々木敬 三上節造
 自由源三郎 金子魁一 柳田亨 栢原政勝 渡邊延(正會員) 福士直次郎 以下39名

協議並ニ發表事項

- 1、挨拶 加福均三
- 2、會務報告(事業及會計) 自由源三郎
- 3、規約改正案説明(會長ノ件其他) 自由源三郎
- 4、[速泳ノ速イワケ]及[人間はなぜ泳げるか]
田中登
- 5、[ジュニアアーサンドン氏の研究紹介]及[海軍檢定規準]ニ就テ 松澤一鶴
- 6、比重測定法 加福均三
- 7、泳法ノ研究並ニ教育事項 吉田勝平
栢原政勝
自由源三郎
下村隆
- 8、懇談 全員

午後四時開會協議會ヲ以テ前半ヲ終リ一同會食少憩後午後九時三十分迄研究會ヲ進行シ將來一層實質的問題ヲ取り上げ行クコトトシ頗ル效果的ニ本總會ヲ終了ス

昭和十六年度水泳指導者資格檢定試験

回次	月日	場所	受験申込	缺席	合格
1	七月七日 七月八日	東京文理科 大學プール	24	2	19
2	八月二十七日 八月二十八日	同上	76	1	59

第一回合格者

昭和十六年度第一回及第二回水泳指導者資格檢定試験日割表

於東京文理科大學プール及教室

月日	曜	午	前	試験	午	後	試験別	備	考
7.6日	火				1.00 受付(渡邊、森島) 2.00 筆答ニ關スル質問(教室) 2.30 實技質問(プール)			各科檢定委員質問ニ應ズ	
7.7日	火	9.00 標準泳法(自由山) 9.30 指導法(本田) 10.00 水泳醫事(金子) 10.30 速泳(松澤、齋藤)		筆答 實技	1.00 競技概要(松澤) 1.30 飛込競技(原秀、笹島) 2.00 平泳(栢原、磯野) 3.00 仰泳(原正、佐々木) 4.00 救助法(米谷)		筆頭 實技 指導	筆答ハ十五分程度	
7.8日	木	9.00 背泳(松澤、齋藤) 10.00 潛水(佐々木、三上) 11.00 飛込(佐々木) 立泳(自由山) 浮身(本田)		實技	成績審査 1.00 補助運動(柳田、吉田) 2.00 口答試問(自由山) 4.00 救助法(米谷)		指導 指導	午後六時 結果發表	

テシ出席者ノ修得ヲ認ム補助運動ト救助法ハ試験ヲ行ハズ各指導練習ヲ以

- 仲正威 寺田忠雄 古木忠義 石渡正治
 久保隆二 小島一郎 竹内晃 加藤敬一
 三輪正男 小菅サカエ 大平瑞惠 廣瀬ヒデ子
 西部夏子 内海通多子 鈴木千鶴子 東士
 増山チセ 河村静子 花山直康
 第二回合格者
 高木弘隆 丸木國太郎 澤井利彦 荒藤義典
 大山昇 藤宮勝治 小澤秀雄 長嶋健
 石井邦彦 栗本芳長 清水治 井上三郎
 原田滋 山田輝彦 河上君温 村尾清
 藤井勇三郎 關實 高橋良平 矢原徳四郎
 山崎峻 島津佃郎 柿沼時次郎 三上勇
 芳川優 加太邦男 澤村武男 小山田基泰
 佐野恒夫 小川潤 福森茂 沖本太平
 村田正 谷本太郎 内田隆夫 新津裕
 加藤源次 新津保則 海野秀作 大塚正雄
 田村洲 鈴木三郎 二上一郎 小松利夫
 中泉榮 鈴木精四郎 佐原正三郎 坂本廉平
 多賀井健藏 伊藤哲治 岩崎二三江 町田行子
 酒井常子 川幡清子 青山喜美子 和田君枝
 須藤昭代 手島國子 佐々木信子

經過

第一回檢定試験當時ハ學校ノアルトキニテ出足少カリシ様ナリ第二回ハ全國的ノ交通制限ニモ拘ラズ地元東京ニテ夏季(練成完了)ノ人達ニヨリ相當多數トナレリ此間Y.M.C.A.金子氏柳田氏ニヨリ第一回ノ豫備講習會ヲ又指導協會役員ヲ中心トスル國民學校委員ニヨリ第二回豫備講習會ヲ開キ各數日ニ亙リ御骨折ヲ戴キタルタメ受檢者ノ大多數ハ從來ノ聯盟講習會ヲ經タル受檢者ニ比シテ少シモ劣ラザル試験通過振リヲ見セ誠ニ喜バシキ次第ナリキ猶ホ七月六日及八月二十六日ノ兩日ハ各受檢者ノ爲メ各檢定委員指導ノ下ニ豫備訓練ヲ行ヒ受檢者各位又熱心ニ練修セリ

本年度ノ檢定ハ次ノ日程ニヨリ毎回共通ニ實施シタリ

“東京の水球を見て”

大阪水泳協會 上野 克己

水球委員長の笹島さんからレフェリーの師導教養をしたいから關西の方から四、五人一緒に来てくれと云ふ手紙を戴いたので早速人選を關西地方委員會に依頼した結果植田武夫君（東大出）平岡良二君（慶大出）松本治一君（關學出）松本司郎君（慶大出）葉室鐵夫君の五名と自分の六名が上京することになった。

最近競技者の技術向上に審判技術が伴わない爲凡なゲームに終らしたり變態的な反則が續出したり、そのありとあらゆる弊害の數々は實に審判員の拙劣さからだと云ふ評判が専らであつた折も折こんな計畫をなされた笹島氏に遅きうらみはあるとはいへ時宜に適した處置として敬意を表する次第である。この結果多少でも審判員の向上に裨益するところがありとしたらわざわざ多人數關西くんだりから上京したこともあながち無意味とはならないだらう。

五月三十一日（土）薄曇の神宮プールを二年振りに訪れたが、一寸の間に随分古くなつた様な感じがしたがスタンドのぐるりに植られた樹木も青々と大きのび茂つてかへつて老舗が付いた様に思つた。親しかつた者へ暫く振りで合つたら意外に老けて居たが重厚な感じがした時の様な氣持だつた。

ダイビングプールの方で法政對成蹊の試合をまづ見た。兩校とも三部に屬するチームと云ふ事だつたがゲームは極めて凡なと云ふより練習不足の爲か球が手に付いて居ないのみか泳ぎもろくろく泳げない程だつた。自分達の折は一部二部の區別すらなかつた時のことだからこのゲームが三部として好試合かどうか一寸見當付き兼ねた。

次で青學と慈大、商大と國大、浦高と成城と矢繼早に觀戰に及んだが未だ一部、二部、三部の實力の程度がのみ込めない自分にはいづれも平凡に見えた。その内、浦高と成城の試合は高校同志の對戰で

あるだけ元氣なところが好ましかつた。

終りの二つは早稲田と一高、日大と文理大とであつたがこれまた今か今かと千兩役者の出を待ちわびてる内に幕が降りたと云つた感じで、自分達のやつて居た當時に比べて格段秀れたとも思はなかつたし別に新戰術も現れなかつた。

これでこの日は東京くんだり迄氣負込んで來た勢に比べて稍調子抜けした様な軽い失望を感じた。

第二日六月一日（日）は日醫と青學から初められたがゲームとして面白いと思えたのはやはり文理大と立教からの試合であつた。早大と帝大も意外の接戦であつたが、S君をして云はしむれば母校の選手とは云へどうひいき目に見ても巧いなぞとは御世辭にも云へないと云ふことであるが自分にしても、早稲田の程度の落ちたことは必ずしも日大に負けたことのみでなく争えぬ事實の様に思へた。

帝大には關西のインターカレッジで活躍して居た浪高の藺守君がバツクで奮闘して居た。

最後の日大對慶大戰は流石に雌雄を決する一戦だけに今迄見たゲームとは格段のひらきがあつた。

最初は日大押し氣味ながら殆ど五角いづれとも決しかねたる様だつたが同點のまま延長戦に移るや俄然日大猛攻を開始し忽ちにして慶應を軍門に降してしまつた。結局の勝因は泳げる日大が泳ぎ勝つた様なものだつた。歴史はめぐる、また泳げなくてはポロも勝てないかと思はせる様なゲームだつた。

兩日の審判に付ても一般的に見て吾々が關西で吹いて居る笛に比べていちぶるしい差違も鋭さも見掛られなかつたし吾々と大差ないと云ふ感じだつた。日大と慶應の笛を吹いて伊丹君などは學生としては巧い方で殊に卒直にきびきびと吹いて居るのは非常に良いと思つた。吾々社會人の弊としてあんな試合になるといい雰圍氣につられて殊更に慎重に利

害關係がない様に吹こうとする、こんな氣持が無意識的に反映してどうかするとゲームそのもの迄沈滞させる結果になるので大いに氣を付けねばならぬと思つた。大體に於てゲームに付いても審判に就て殊更に學ぶべきものはなかつた様だが、流石に水球も本格的にやりだしてから（リーグ戦開始以來）ざつと十年餘りなるので本場の東京では大分根が張つて來た様に思へた。當時は早慶帝を除いては格段のひらきがあつたし参加校も精々十校位のものだつたが、今日のこの盛んなる様を見てはやはり漸進的ではあるが進歩の跡は大いに認められると思ふ。目下水球の土臺建設に大童と云ふ様だ。

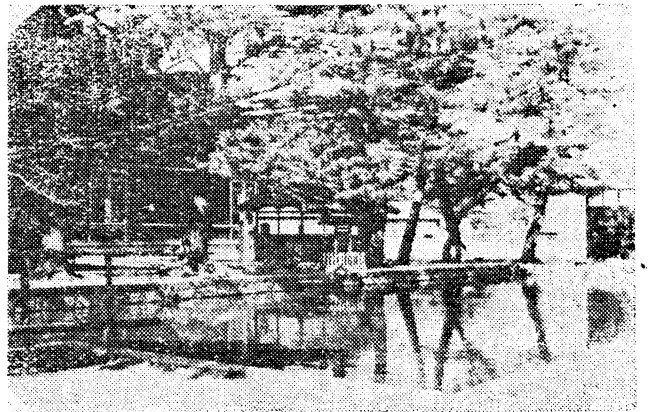
何時も上京する毎に思ふのだが、關西の觀客に比べて東京の水泳ファンの質のいいこと、殊に未だ僅かではあるが、東京には水泳のファンの存在があることは吾々にとつてはつくづく美しい事であつた。水球ファンと云ふ用語が當たらぬとしたら水球を理解してくれる人が多く居ると云ふことは水球の發達に働く事の出來ぬ要素ではなからうかと思ふ。

以上くどくどしく述べたてだが、何んと云つてもいろいろな意味で東京は水球の本場である。

最後にこん度の上京と關係ない事だが、ボールの事に就き一言したいのである、ボールのない水球は水のない水泳にも等しいのであるから聯盟にお願いしたいのは、もう少し腰を入れてボールの獲得に乗り出して戴きたいと云ふことである。この問題では笹島さんも大分因らされては居られるだらうし、御本人にしても自からボールを造り出されるのでない以上、いくらせめても結果は同じだと云ふ理窟にはなるが東京に居て直接文句の云へる人は未だいゝとしても地方に居て漸く手紙でウサを張らすことより出來ぬ者にとつていつたいどうなる事だらう。

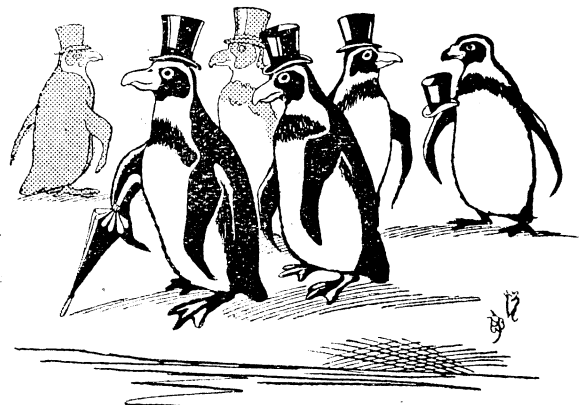
この結果は昨年あたりから切實に現れて從來大阪府下で水球をやつて居た中學が十數校はあつたが、去年はボールがない爲練習が出來ず出場し得た學校は比較的有力な學校で餘分に貯えのあつた學校が六校出場したに過ぎなかつた。今年に及んでは更にヒドイ結果を示し其の内何校が出場出来るか分らないと云ふ状態であるこれでは水球の發展も進歩もないものである。こんな現情を吾々指導者は只仕方がないと、默過して居ていゝものであらうか。本年は吾々の協會では漫然何時廻るともあてのない配給を待つことも出來ず各團體の手持品の修理回生に乗り出

しその全部をとりまとめ發達、修理、代金等々並べて當協會の手によりて積極的に世話を焼いたのである。この結果どうやら今更だけは漸くもちこたえ得ることが出來たが、更に強加されるだらう。來年のヒツパクを思へば今から苦痛の種である。どうかこひ願くば東京の皆さんよ、地方の實情を認識され水球の普及發達の爲互讓の精神を發輝して戴きたいと云ふ事である。 (以上)



日本最初のプール？

嘉永二年長州萩城下に設けられた水練池で、明治維新の元勳も亦此池に育つたことだらう。明治九年前原一誠舉兵の際雖反せるもの窃かに彈藥を此池に投じたるより俗に煙硝池とも云はれ文部省指定となつてゐる。



海

外

水

泳

情

報

小山賢之助編

晴天の霹靂の如く獨ソ開戦が傳へられて、水上聯盟の企圖した獨洪選手招聘並びにヒットラーユーゲント本部の計畫した日本の少年團招聘の何れもが殆んど不可能視せらるるに至つたのは誠に遺憾の極みである。又海外情報編輯子の痛手はシベリヤ經由で來てゐた歐洲の水泳界の情勢が全く杜絶することであつて、残るは只米國系のニュースのみとなり、之とても何時迄續くか疑はしい。されば本誌の讀者が「海外情報」の悪文から解放せらるるのも近い將來に在るといふ譯で御同慶の至りである。

○本年度に於ける世界記録

昨年末に於ける米制種目の世界記録は昭和16年版の水泳鑑所載の通りで、校正不十分の爲め天野君の1500米が18:58.8とあるべきを19:58.8となつて居たり800米繼泳が8:51.5とあるべきを8:5.15となつて居るのは誠に不手際で本紙を通じて御詫びする次第である。FINA（國際水泳聯盟）が世界大戰の爲めに機能を停止し、然かもその名譽主事レオン・ドナート氏が死去した爲に全く有名無實となつて世界記録の管理本部の所在が不明となつてしまつた。折しもアメリカAAU水泳部委員長ローレンス・ジョンソン氏からNSRの田畑主事宛に下記の如き手紙が來たのは注目されて然るべきであらう、曰く「世界の一部分に於ける戦争の爲に他國の運動競技の活動が阻害せらるるが如き現制度を廢棄して、當方（米國）に於ては西半球水泳聯盟結成を企圖して居るが貴方に於ては汎太平洋水泳聯盟結成に努力せられ度い」と、

此の案により他方獨逸を中心とする西歐、ソ聯を中心とする歐亞に夫々聯盟が出来ることとなれば、

世界記録といふ觀念が著しく變形せられて各ブロック毎の最高記録と之の中の最優のものを集めた世界記録が出来る譯である。従つて之等のブロックの中核體の公認するものは夫が現世界記録を凌駕すれば世界新記録といふの他なく、從來の如きFINA公認の世界記録表といふものは消滅していい筈である。

この趣旨の下に今年に入つてからの世界最高記録と目せらるるものを拾ひ集めると右の通りとなる。

1. 男子

400 碼繼泳、二月初旬エール大學チームはブラウン大學との對抗戦に於て3:30.1の記録を出して3:30.7の現記録を破つた。ラップタイムは左の通りであつた。

ジョン・フリーランド	54.4
リチャード・ケリー	52.7
エドワード・ポウプ	52.2
ハワード・ジョンソン	51.0

次いで二月下旬同大學は海軍大學との對抗戦に於て更に上記の記録を凌駕する3:28.8の記録を出した、ラップタイム左の通り、

トーマス・ブリットン	53.9
リチャード・ケリー	51.8
エドワード・ポウプ	52.1
ハワード・ジョンソン	51.0

越えて三月五日ニューベイザンのホームプールに於て、ポップ・ベンネット、リチャード・ケリー、エドワード・ポウプ、及びハワード・ジョンソンより成る同大學チームは3:27.7の大記録を樹立したラップタイムは残念乍らわからない。

四月四日に行はれた全米室内選手権水上競技大會に於て、シカゴタワーズ俱樂部は 3:29.6 の記録を出した、米國に於て繼泳にかくも新記録が出たのは一般の水準の向上を物語るものとして注目すべきである。タワーズ俱樂部のラップタイムは右の通りである。

オット・ジャレツ	52.8
ヘンリー・コスロフスキー	53.6
エドワード・キラール	52.8
ハロルト・ヘンニング	50.4

ヘンニングのタイム 50.4 はフライングスタートの利ありとはいへ百碼の現世界記録 51.0 を凌ぐ事正に 0.6 秒新人として目覺しい強味を發揮したと言ふべきであらう。

△背泳 に於けるキープアーの強味は本年に入つてからも毫も衰へない。彼は二月初旬デットロイトに於て百碼背泳に 58.3 を記録したのを手始めに、三月中旬シンチナチに於て、57.0 といふ現記録 58.8 を 1.8 秒も破る大記録を樹立し、又四百四十碼に 5:10.9 を記録して、米國の全種目の記録 5:12.6 を破つたのみならず、四百米の世界記録 5:13.4 をも凌駕する世界新記録を樹立した。



アソニ、カペル

△二百米自由形 布哇の名コーチ坂本宗一に育くまれたウキリアム・スミスといふマウイ中學の十七歳になる少年が、布哇のデューク・カハナモク記念競技會（詳報別項にあり）に於て 2:07.7 の世界新記録を出して全世界をアツと言はせた。

△女子平泳 五月十一日デュセルドルフに於て行はれた競技會に於て、アソニ・カペル嬢（獨逸、ミュンヘン・グラードバツハ水泳俱樂部所屬）は四百米に 6:08.3 500 米に 7:43.2 の二個の世界新記録を樹立した。

尙 400 米の記録を 6:00.8 と新聞紙に報道してあつたのは全然誤りである。

同嬢は既に四月六日デュセルドルフに於て 200 米に 2:55.5 の世界記録を樹立して居るので合計三種目の平泳世界記録保持者となつたわけである。二百

米のラップは、百 1:23.8 百五十 2:09.2 であつた。

△女子四百米背泳 前號參照

新記録は 5:38.2、ヴェーガー（丁抹）である。

◆全獨逸室内選手権大會

1941年度全獨逸室内選手権水上競技大會は二月八九兩日ブレスラウの25米競泳池に於て午後七時から舉行せられた。フィツシアー、ブラート、アーレント等の有名選手の参加は無かつたが、ケーニングーオールドルフ、ハイナ、バルケ等若手の諸選手が出泳して戦時下にも拘らず相當なる好成績を挙げた。觀衆の中にはブレスラウ市長フリードリヒ博士、體育長官ブライトハウプト並びに獨逸體育省水泳部長ゲオルグハックス等の顔も見えた。

△女子百米背泳

1. リースル・ヴェーバー（バイエルン） 1:17.0
2. カンデラ（シエーネベルグ） 1:23.2
3. クムメル（ウキーン） 1:25.3

ヴェーバー最初より出で堂々優勝、カンデラ、クムメル75米迄接戦したがラストスパートも美事にカンデラ二位に入つた。

△男子二百米平泳

1. ハイナ（ドレスデン） 2:43.0
2. バルケ（北海海兵團） 2:44.4
3. ゴルト（エルフルト） 2:47.2
4. ジータス（キール海兵團） 2:48.4

バルケスタート好くハイナを僅かにリードしつつ百米をターン、タイム 1:14.0 餘り好い記録ではない。彼は通常 1:13.0 位で折返す筈である。ハイナは百五十米迄はそのままバルケに追隨して、バルケ連勝成つたかと思えたが、ハイナは百七十五米で之に追附してゴールでは約一米の差をつけて前年度優勝者より覇權を奪取した。此の試合に於てテムケ（伯林）は 2:46.5 の好記録を出して三位に入つたが、175 米に於ける折返しに際して片手しかタッチしなかつた爲に失格した。

△男子二百米自由形

1. ケーニングー（マグデブルグ） 2:17.6

2. シュレーダー (ボン) 2:19.3
3. リンドナー (ゴフデンツ) 2:22.2

△女子四百米自由形

1. バツハマイヤー(ニュルンベルグ) 5:53.0
2. シュテンダー(シエネベルグ) 5:55.7
3. ランナウ(アイムスブツテル) 6:02.1

△女子二百米平泳

1. カペル(ミュンヘン) 2:58.0(獨新)
2. グラウトホフ(ボツフム) 3:00.7
3. シュミット(ハムブルグ) 3:01.2
4. ハルトマン(ブレスラウ) 3:01.7

未曾有の好レースを展開、百米迄三者殆んど同着時間 1:25.0 150米でグラウトホフ僅かに先んじたが175米からカペルラストを利かせ二米の差をつけて優勝、シュミット、最後にグラウトホフに迫つたが及ばず。

△女子百米自由形

1. グロート(ブレスラウ) 1:11.9
2. ウェーバー(バイエルン) 1:12.1
3. バツハマイヤー(ニュルンベルグ) 1:13.0

△男子百米自由形

1. エツケンブレツハー(シュパンダウ) 1:01.5
2. シュレーダー(ボン) 1:01.7
3. ケーニンガー(キール海兵團) 1:02.3

△男子百米背泳

1. シュレーダー(ボン) 1:09.1
2. シュラウフ(エルフルト) 1:10.0
3. ホツツ(オスナブルック) 1:11.1

往年の名手シュラウフも新進シュレーダーの爲に破れた、短水路とはいへ 1:09.1 は強い。

△男子四百米自由形

1. ケーニンガー(キール海兵團) 5:03.9
2. ヴイットマン(ミュンヘン) 5:12.0
3. ファイヒト(伯林) 5:25.8

ブラート、アーレント無き後の中長距離陣は大いしたものではない。

△男子百米平泳

1. オールドルフ(キール海兵團) 1:12.2
2. カイザー(キール海兵團) 1:14.4
3. クライン(ブレスラウ) 1:14.9

△男子四百米繼泳

1. ウキーン水泳俱樂部 4:19.8

△男子二百米繼泳

1. ウキーン水泳俱樂部 1:53.7
- △男子四百米混繼泳(平泳二百米)
1. マグデブルグ 5:03.9

△女子三百米繼泳

1. ブレスラウ 3:46.7

△女子三百米平泳繼泳

1. ミュンヘン・グラードバツハ 4:30.7

△女子四百米混繼泳

2. ミュンヘン・グラードハツハ 5:44.2

獨逸の選手權大會に於て注目せらるる事は俱樂部を單位する優勝チーム争ひが個人優勝と同様に力を入れて行はれ、又繼泳種目が非常に多くチーム全體の粒揃ひといふ事が強調せられて居る點に在る。我國の選手權大會にも此の考へ方をする要があるのではあるまいか。又インターカレッヂ、インターミドルに於ても繼泳を主とする競技會を開く必要がありはしないかと考へる。

◎全米女子室内選手權大會

1941年度全米女子室内選手權水上競技大會は三月十九日より四日間=ニューヨーク洲バツフアローの25碼プールに行はれた。結果は近年になく素晴らしいもので全米記録を更新する事二回、他にも之に近迫せる好記録を産出した。合計十種目の中五番目迄は新人が覇權を掌握したのみならず、活躍した選手の大部分が十四歳から十八歳迄の少女であつて、年少選手よく入賞して、米國女子水泳界の前途洋々たるを思はしめたのは頼母しかつた。最も注目すべきは二百二十碼平泳に於て、インディアナポリスのリヴェラ俱樂部所屬、當年十四歳のパテイ・アスピナル嬢が 3:07.8 の全米新記録を出したのと、之に續いて紐育女子水泳俱樂部のヘレン・レインズ嬢が 3:11.2 で二着、リビエラ俱樂部のジョアン・フオグル嬢が 3:19.0 で三着となつた事である。元來米國では速泳にはヘレン・マデイソン嬢其他歐洲に匹敵する大選手が輩出して居るが、平泳に於ては全く振はず 3:20.0 を切れば好いとせられて居た。本年年少の三者が相當の好記録を出した事から、之を養成すれば平泳にも國際的泳手が出来る事と期待せられて居る。記録左の通り。

百碼自由形

1. マクオーター(紐育俱) 1:02.6
2. ヘルザー(ムルトノマー俱) 1:02.7
3. レオナード(ウオーセスター俱) 1:02.8

タイムにても知らるる通り稀有の熱戦で、新進マクオーター嬢よく前年覇者ブレンダ・ヘルザー嬢を撃破した。ヘルザー嬢は前年100.220の三種目に制覇したが、本年は元氣なく双方共に奪取せられた。

220 碼自由形

1. レオナード (ウオーセスター俱) 2:33.8
2. ヘルザー (ムルトノマー俱) 2:34.2
3. マクオーター (紐育俱) 2:37.8

440 碼自由形

1. マーキ (ムルトノマー俱) 5:30.1
 2. レオナード (ウオーセスター俱) 5:34.0
 3. ハーディン (レイクサイド俱) 5:40.9
- 一着ナンシー・マーキ嬢の記録 5:30.1 は全米記録 5:29.5 (ハリーナ・トムスカ嬢) に迫る好記録である。

100 碼背泳

1. ヘレン・ペリー (イリー大學) 1:09.7
2. グローリア・カレン (紐育女子俱) 1:09.9
3. ベテイ・ベミス (リヴィエラ俱) 1:12.0

300 碼個人混泳

1. ヘレン・レインズ (紐育女子俱) 4:04.9
2. ベテイ・ベミス (リヴィエラ俱) 4:08.3
3. ルート・ハワース (ウイテン俱) 4:09.8

220 碼平泳

1. パテイ・アスピナル (リヴィエラ俱) 3:07.8
2. ヘレン・レインズ (紐育女子俱) 3:11.2
3. ジョアン・フヨグル (リヴィエラ俱) 3:19.0

布哇の日系米人勝谷富士子嬢の保持する全米記録 3:09.0 は破られた。

飛板飛込 三米

1. ヘレン・オーレンコウイツチ (桑港フェアモント俱) 156.68

飛板飛込 一米

1. アン・ロス (ドラゴン俱) 119.73

300 碼混繼泳

1. 紐育女子水泳俱樂部 A組 3:30.5
(豫選記録 3:29.4)
(カレン・フィツシアー・オドンネル)

400 碼繼泳

1. ムルトノマー體育俱樂部 4:12.4
(ナンシー・マーキ、スザン・チムマーマン、ジョイス・マクレア、ブレンダ・ヘルザー)

此記録は全米記録 4:13.4 を破る好記録である。

團體得點

1. 紐育女子水泳クラブ 34點
2. ムルトノマー體育クラブ 27點

個人得點

1. ドロシー・レナード 11點
2. ヘシン・レインズ 9點

◎全米インターカレッジ

1941年度全米室内大學對抗選手権水上競技大會は三月廿九、卅兩日、オハイオ洲立大學の三十碼プールに於て舉行。マツト・マンをコーチとするミシガン大學とキツフアスをコーチとするエール大學とが猛烈な接戦を演じたが、平泳に弱い従つて混繼泳にも弱點を有するエール大學が三點の差で破れる事となつた。ミシガン大學は之で八回連續優勝を遂げた事となる。

ポップ・キツアスの殘念さが忍ばれる。一着記録左の通り。

50碼速泳

- ・チャールズ・バーカー (ミシガン) 23.0

100 碼速泳

- ウイリアム・プリュー (ウエイン大學) 52.1

220 碼速泳

- ハワード・ジョンソン (エール大學) 2:12.5

440 碼速泳

- ゼームズ・ウエルシュ (ミシガン大學) 4:51.4

1500米速泳

- ルネ・シユトオ (エール大學) 19:43.4

150 碼背泳

- フランシス・ナイト (ミシガン大學) 1:37.7

200 碼平泳

- ゼームズ・スキナー (ミシガン大學) 2:25.9

三米飛込

- アール・クラーク (オハイオ大學) 165.40

一米飛込 同上

144.90

300 碼混繼泳

2:58.0

ミシガン大學 (ナイト・スキナー・モールス)

400 碼繼泳

3:31.3

エール大學 (ジョンソン・ケリー・ポープ・ブリトン)

- 得點
1. ミシガン大學 61點
 2. エール大學 58點
 3. ウェン大學 19點
 3. オハイオ州立大學 19點

◎全米室内選手権大会

1941年度全米室内選手権水上競技大会は四月四、五兩日ミシガン大學のアンアーバープールに於て左の如き米國一流の役員を以つて舉行せられた。

審判長 AAU水泳委員長ローレンス・ジョンソン

審判員主任 マックス・リッター (羅府)

計時員主任 ライマン・ビンガム (シカゴ)

出發合圖員 エドワード・ケネティ (コロンビア大學水泳コーチ)

飛込役員主任 クラレンス・ピックストーン (デットロイト)

大會總務 マット・マン(ミシガン大學水泳コーチ)

オットー・ジャレツ、アドルフ・キープアーの二雄を有するシカゴタワーズクラブはスタンレー・ブラウン・ジャヤー・コーチの下に必勝を期して出場、十種目の中六種目に一位を獲得し、總得點44點を擧げて、前年覇者ミシガン大學を破つて覇權を掌握した。四百碼繼泳にタワーズクラブは世界新記録を出したが、二日間に豫選準決勝決勝を行ひ、各人が少くとも四五種目に出場する爲に好記録は出でず、タフなものが勝つと言ふ結果となつた。

百碼速泳

1. オット・ジャレツ (タワー俱) 51.4

豫選では 51.2 の好記録を出して居る、彼が此の種目に世界新記録を出す日も近いと期待される。

2. ウィリアム・プリュー 52.5
3. ヘンカー・コスロフスキー(タワー俱) 52.5

彼は本年十七才、新進氣鋭の泳手である。

220 碼速泳

1. オット・ジャレツ (タワー俱) 2:10.3
2. トーマス・ヘニイ (デットロイト) 2:11.0
3. ジオン・パツテン (ミシガン大) 2:11.0
4. ゼームズ・ウエルシュ (同) 2:12.6

440 碼速泳

1. ポール・ヘロン (無所屬) 4:45.4
2. トーマス・ヘニイ (デットロイト) 4:45.6
3. ゼームズ・ウエルシュ (ミシガン) 4:49.6
豫選 4:48.7
4. ルネ・シュトオ (エール大學) 4:53.4
5. エリツク・カトラー (無所屬) 4:54.3
豫選 4:51.4

ヘロン・カトラー相並んでトツプを切りシュトオウエルシュ少差で之に續き白熱の好レースを展開し

た。百碼ではヘロン・カトラー第一位 59.4 でターン、二百碼ではヘロン稍出で 2:06.2、カトラー 2:06.5 で之に次いだ、後三者は何れも 2:08.5 250 碼ではカトラー疲れて最後となり、それ迄最下位に在つたヘニイ俄然ピツチを上げて二位に擡頭した。後半ヘニイ更に力泳して三米餘先進するヘロンを猛追し刻々差を縮めたが、ヘロン遂に逃げ込んで覇權を奪取した。蓋し稀に見る好レースであつた。

150 碼背泳

1. キープアー (タワー俱) 1:33.1
2. ハイト (ミシガン大) 1:36.3
3. フオランスビー (無所屬) 1:38.7
4. ガス (無所屬) 1:39.1
5. デイリー (無所屬) 1:39.2

碼制で速力の見當がつかないがキープアーの記録は 100 米で略 1:06.0、ハイト 1:09.0 程の實力であつてなかなか侮り難い。

220 碼平泳

1. ゼームズ・スキナー (ミシガン) 2:41.9
2. ゼームズ・カウシルマン(聖ルイス) No time
3. エドワード・パーク(プリンストン) 2:45.2
4. ウキリアム・シュミット (ヨーク) 2:46.6
5. チャールズ・スパンダラー(無所屬) 2:49.5

無名の新人カウシルマンが二着となつたのは大番狂せとも言ふべく、計時されて居ないのを見ても役員の外意外さがわかる。豫選に於ける彼の記録は 2:43.2 であつた。

300 碼個人混泳

1. アドルフ・キープアー (タワー俱) 3:29.6
2. フィリツプ・カーソン(ブラウン大) 3:34.2
3. ジオージ・ギボンズ (同上) 3:35.9

400 碼繼泳

1. タワーズ A 3:29.6 (世界新)
2. ミシガン A 3:30.4 (同上)

シカゴタワーズ俱樂部A、B、ミシガン大學A、B、の接戦となつたが、タワー俱一四着 ミシガン二三着の結果となつた一二着共に現世界記録 3:30.7 を破る好記録である。只エール大學が本年三月作つた 3:27.7 には及ばない。ラツプタイム次の通り。

タワーズ俱		ミシガン大	
ジャレツ	52.8	バーカー	54.0
コスロフスキー	53.6	シエアメツト	52.1
キラール	52.8	ウエルシュ	52.7

ヘニング 50.4 バートン 51.6
 タワー俱の勝因はラスト、ヘニングの超人的奮
 泳に在る。

300 米混繼泳

1. タワー俱 A 2:55.4
2. ミシガン A 2:55.6

四百碼繼泳に惜敗したミシガンは混繼泳にも少差
 で破れ、團體優勝はタワー俱に輝いた。ラツプタイ
 ム左の通り。

タワー俱		ミシガン大	
キーファー	58.3	ハイト	60.4
ロウ	66.3	スキナー	63.5
ジャレツ	50.8	シユアメツト	51.7

一米飛板飛込

1. アール・クラーク (オハイオ) 150.31

三米飛板飛込 同上 156.59

- 團體得點
1. シカゴタワーズクラブ 44點
 2. ミシガン大學 36點
 3. オハイオ洲立大學 12點

- 個人得點
1. オット・ジャレツ 10點
 2. アドルフ・キーファー 10點
 3. アール・クラーク 10點

個人優勝は個人得點10點の者三名で、繼泳に貢
 した程度によつて上記の順序となつた。ジャレツは
 四百、三百混の二繼泳に一位となつてゐるのに對し
 キーファーは三百混にのみ一位であり、クラークは
 繼泳の得點がないからである。

◎濠洲水泳界

濠洲に於ては戦亂に依る影響少く濠洲としては相
 當な好記録が出てゐる。

- 女子百十碼背泳 グェン・ミラード 1:16.8
- 長水路記録であるから略世界の第一線に在る。
- 男子百十碼自由形 パーシイ・オリバー 1:01.6
- 同八百八十碼自由形 ノエル・ライアン 10:36.0
- 同四百四十碼自由形 パーシー・オリバー 5:17.6
- 何れも長水路の記録である。以上

運動には何の位掛るか？

種目別に見た用具費を少額の順に調べて見ると次
 の通りである。尙價額は円で上から下までであるが平
 均で内容は省略してある。(單位圓)

水 泳 3.35

レスリング		3.50
相撲		8.80
柔道		11.20
ボート		13.30
ヨット		17.00
排球		17.80
卓球		18.17
陸上		20.50
籠球		30.40
庭球		44.38
氷上スピード		52.39
野球		53.70
ラグビー		54.50
ホッケー		58.85
劍道		72.20
弓道		74.50
拳闘		80.50
登山		100.00
鎧球		108.40
氷上ホッケー		117.15
スキー		133.82
ゴルフ		800.00

(東日運動欄より)

水泳指導者檢定試験施行

本聯盟昭和十六年度水泳指導者資格檢定は左記要
 項に依り第一回を七月六日より本年は特に第二回を
 八月廿六日より行ふ。

要項	
日時	第一回 七月六、七、八日 第二回 八月廿六、七、八日
場所	東京高等師範學校プール及同教室
檢定種目	潜水 廿五米 速泳 百米 背泳 五十米 平泳 百米 立泳 飛込 伸泳 浮身 救助法
申込	檢定試験の前日迄に申込用紙に檢定 料金貳圓添へ麹町區丸ビル五八一區 日本水上競技聯盟申込の事。

科學施設研究委員會

議事録

水泳期節を目前に控へた去る四月十一日、日比谷陶々亭に於て第一回科學施設研究委員會が開催せられ測定委員長渡邊貫博士を初め、斯界に於ける權威者多數の出席を得て、非常に盛大、且つ眞摯なる開會を見たのである。

以下委員會の模様を御傳へする事とす。

先づ水上聯盟側より松澤一鶴氏立ちて、オリンピック準備當時に於ける科學施設研究會結成、消滅の歴史及び主催者側たる水聯の意圖する所に就いて詳かに意見を述べられ、

次いで渡邊委員長より、委員長就任の挨拶並に次の如き抱負に就き語られたのである。

そもそも此の科學施設研究會は一水上聯盟主催に於て、開會せられたものであるが、此の研究會の發達、研究の達成は一水泳競技のみに限らず、あらゆる競技團體に應用利用され得る事は勿論、國防國家施設の一端として、或は一般社會人の日常生活の上にも廣範圍に應用される可きもので、非常に意義あり特に非常時局下の今日、最も時局に適した研究會たる事を強調され、各委員に於ては今後研究目的に對して努力される様希望されたのである。

然して、先づ當面の問題として次の如き研究題目に就き各自研究を進む可く決定された。

1. 計 測

オートマチックレコーダー、ストップウオッチの取扱方、時計

「オートマチックレコーダー」は電氣操作に依り自然に記録出来る様、陸上競技に於ては簡単に出来るものであるが水泳競技は水の中である故如何なる施設となるや最も簡易なる施設、方法等に就きストップウオッチ取扱方は從來非常に亂暴な取扱をする人があるが如何にして扱ふを最正規の取扱方法なるや否や等

2. 材 料

水着、水球用ボール、飛板

代用品材料の研究及び、飛板として弾力性ガラスの研究

3. 照 明

照明反射の水泳競技に及ぼす影響等

4. 競泳池構造

競泳池構造に於て、從來長さ、角度の點に就いては嚴密なる測定の上公認を許可したものであるが深さに於ては餘り重きを置かなかつたのであるが深さ、水壓の人體に及ぼす影響、抵抗、浮力等から考へ、深さを如何になす可きや等

尚、鐵材不足の折から無筋コンクリートプールの理想的断面、防空用、貯水用として利用する場合の構造等

5. 化 學

プールの淨化、飛込池水面(底に藥品撒布)、マグネシウム使用ピストル

プール内の細菌の状態、之の淨化、飛込池水面の識別、光を消す方法、出發臺に於ける出發合圖を50米に於て記録する場合のピストルの構造施設

6. 防 空

防空上より見てプール建設が如何に重大な役割をなすか、避難所として或は貯水池、防火池としての利用價值、構造改良、建設の獎勵等

7. 其 他

上記各種研究に就いて小委員會を作り、研究をなす事とし、委員會の開催は隔月に行ひ各自研究の發表、検討を行ふ事を決定盛會裡に閉會した。

出席者氏名 順不同 稱號略

水聯側 田畑、松澤、根來

渡邊貫、黒田武定、山縣昌夫、那須信治、高橋龍太郎、田上奏、當山道三、鈴木武夫、飯田仍事、金澤壽吉、堀武男、堀一郎、伊丹康夫、本多良助、松岡道男、戸田晃

誌 日 盟 聯

3	月	18	日	神宮外苑管理署ト打合セ會	幸		樂
		19	日	常務理事會	事	務	所
		20	日	小學校委員會	事	務	所
		24	日	學聯水球懇談會	事	務	所
		25	日	早、日、立、慶、明、五大懇談會	幸		樂
				競泳池公認委員會	事	務	所
		28	日	理事會	事	務	所
4	月	11	日	科學施設委員會	事	務	所
				飛込競技委員會	陶	務	所
				獨逸大使ヨリ選手派遣承諾ノ旨通知アル			
		14	日	標準泳法委員會	事	務	所
		16	日	水球競技委員會	事	務	所
		17	日	理事會	事	務	所
				水球審判委員會			
		19	日	松浦武雄、小林榮三、氏歡送迎會	井		上
		22	日	學聯水球競技委員	事	務	所
		24	日	實行委員會	事	務	所
				女子部委員會放送局參觀ス			
		28	日	常務理事	事	務	所
				水球常任委員會	事	務	所
5	月	3	日	水球競技委員	事	務	所
		6	日	競泳池公認委員會	事	務	所
		9	日	國民學校委員會	朝	日	新
		12	日	三大學打合會	事	務	所
		14	日	水球審判委員會			
		15	日	女子部委員會	事	務	所
		16	日	飛込競技委員會	事	務	所
		17	日	理事會			
				關東學生水球リーグ戦始ル			
		19	日	指定打合會	事	務	所
		20	日	學聯實行委員	事	務	所
		21	日	水球常任委員會	事	務	所
				飛込競技委員	事	務	所
		24	日	常務理事	事	務	所
		25	日	明治神宮外苑水泳場開キ			
		28	日	常務理事	事	務	所
		29	日	學聯飛込競技委員	事	務	所
		30	日	第四回國民皆泳全國學童水泳大會懇談會	花		月

編 輯 後 記

佛の顔も三度と云ふ言葉があるがもう三度所ではない、催促状の束を前にし乍ら佛をだました行先が地獄と分つてゐるものせめての良心を絞り出して全く相濟みませんとお詫び申し上げます。

先づ深谷さんの無筋プールの研究発表は待望のものであり長年に亘る御努方の跡に深き敬意を表します、國民體位向上と水泳の連關性が資材關係外オール、マイナスの材料の累加で背仲合せをしてゐる丁度鐘詰を前にして確切りをもたない歎きの心境を見事打開して下さいました、現下の狀勢下で出来る最大限度の設計と思ひます。必要が發明の母となつた譯です。

外早慶戦は齋藤氏三大學戦は坂上氏、關東學生水球リーグ戦は帝大の伊丹君が、東京、横濱、八王子の三市對抗は白山さんが、大阪から遙々上野さんが東京の水球を観るといふ題で夫々御多忙中にも拘はらず誠に適切な批判をいただいて深謝してゐる次第です。

まだインタカルツヂ、神宮大會と大物が控へてゐます、颯々たる秋の陣！ 愛讀者諸兄の御健康を祈り併せて此の驚馬に鞭つや切なるものがあります（以上）

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第 8 0 號

昭和十六年十月十七日納本
昭和十六年十月二十日發行

(日本水上競技聯盟代表)

發行兼印刷人 田 畑 政 治

印刷所 大日本印刷株式會社
牛込區市谷加賀町一の二

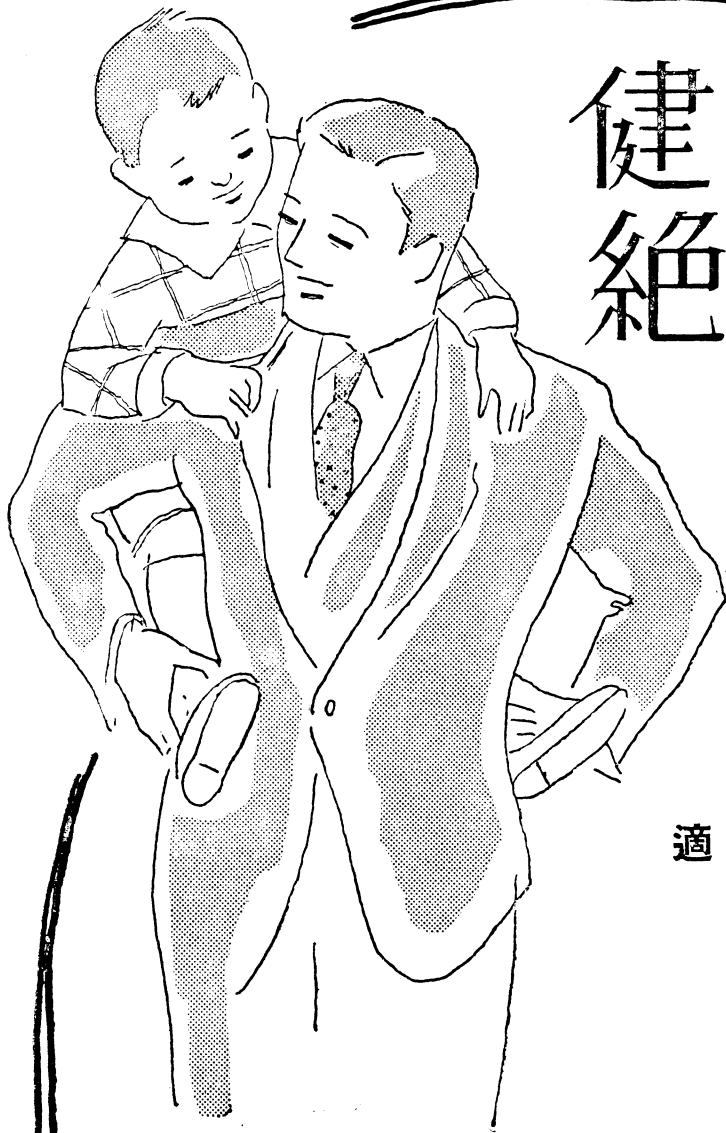
定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥ 2.40

豫約申込者に限り頒布す (1年前金豫約は送料不要)

廣告料 35圓乃至10圓 御申込次第詳細回答

發行並
申込所

東京市麴町區丸ビル581
日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番



健康保持に 絶対必要 副養素 オリザニン

ビタミンBの世界的始祖

鈴木梅太郎博士発見
帝國學士院受賞

適應範圍

- 元氣の銷沈に.....
- 活動力の減退に.....
- 疲勞及び倦怠感到.....
- 食慾不振に.....
- 胃部膨滿感到.....
- 便秘に.....
- 脚氣の治療と豫防に.....
- 兒童の成長障礙に.....
- 妊娠産褥授乳時に.....
- 發熱性疾患時に.....
- 細菌性疾患時に.....
- 中毒性疾患時に.....

(内服用末、錠、液、エキス)
注射用各種製品あり

詳細説明書にあり
御申越次第進呈



製造發賣元 東京 三共株式會社
 町 堂